実務経験のある教員等による授業科目一覧**【歯科衛生学科】**

授業科目	単位数	実務経験のある科目担当教員の氏名		
口腔衛生学	2	久保田　浩三		
歯科衛生士概論	1	下野　あゆみ		
歯科臨床概論	1	竹原　直道		
保存修復学	1	世良　優裕		
歯内療法学	1	藤元　政考		
歯周治療学	1	久保田　浩三		
歯科補綴学	1	安増　絵理		
口腔外科学	1	鶴島　弘基	三次　翔	
歯科麻酔学（救急蘇生含む）	1	原野　望		
小児歯科学	1	渡辺　幸嗣		
高齢者・障害者歯科疾患論	1	柿木　保明		
矯正歯科学	1	郡司掛　香織		
歯科口腔放射線論	1	小田　昌史		
歯科予防処置論Ⅰ	1	永富　すみれ		
歯科予防処置演習Ⅰ	2	永富　すみれ		
う蝕予防処置論	1	永富　すみれ		
歯科予防処置演習Ⅱ	3	永富　すみれ	五十嵐　比奈子	
歯科予防処置論Ⅱ	1	永富　すみれ		
歯科保健指導論Ⅰ	2	五十嵐　比奈子		
歯科保健指導論Ⅱ	2	五十嵐　比奈子		
歯科保健指導演習Ⅰ	1	五十嵐　比奈子		
歯科保健指導演習Ⅱ	2	五十嵐　比奈子	八丁　亜由美	
歯科保健指導論Ⅲ	1	五十嵐　比奈子		
歯科保健指導演習Ⅲ	1	五十嵐　比奈子		
歯科診療補助論Ⅰ	1	下野　あゆみ		
歯科診療補助演習Ⅰ	3	下野　あゆみ		
歯科診療補助論Ⅱ	1	下野　あゆみ		
歯科診療補助演習Ⅱ	2	下野　あゆみ	永富　すみれ	
歯科診療補助論Ⅲ	1	下野　あゆみ		
歯科診療補助演習Ⅲ	1	下野　あゆみ		
医療事務論	1	五十嵐　比奈子		
看護学	1	山本　佐知子		
臨地・臨床実習Ⅰ	8	下野　あゆみ		
臨地・臨床実習Ⅱ	12	下野　あゆみ		
総合講義	2	郡司掛　香織	三次　翔	久保田　浩三
		安増　絵理	渡辺　幸嗣	柿木　保明
		藤元　政考		
介護技術概論	1	柴田　仁子		
介護技術演習	1	柴田　仁子		
摂食嚥下・口腔機能訓練法	1	藤井　航		
合　　計	67			

九州医療スポーツ専門学校
令和 5年度　歯科衛生学科

科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野
	○		

授業科目名	生物	担当者名	松山　佳永

授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次		2年次		3年次	
						前期	後期	前期	後期	前期	後期
単位数	2				授業時間数	30					

授業概要	生物学の基本的な概念や原理・法則を理解する
成績評価	記述試験
その他	松山　佳永（実務経験なし）

使用教材	書　籍　名	著　者　名	出版社名
教科書	歯科衛生学シリーズ　生物学	全国歯科衛生士教育協議会　監修	医歯薬出版株式会社
参考図書			

回数	授　業　計　画
1	生命
2	細胞
3	細胞の活動
4	細胞の一生
5	個体のなり立ち　1
6	個体のなり立ち　2
7	生殖
8	遺伝子
9	まとめ・演習　1
10	刺激の受容
11	ホメオスタシス
12	ホルモン　1
13	ホルモン　2
14	生体防御
15	まとめ・演習　2

九州医療スポーツ専門学校
令和 5年度　歯科衛生学科

科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野
	○		

授業科目名	情報処理					担当者名		上野　景子			
授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次		2年次		3年次	
単位数		2			授業時間数	前期	後期	前期	後期	前期	後期
							30				

授業概要	基本的なパソコン知識と情報モラルを身につけ、仕事や生活において正しく効果的にインターネットを活用するための知識を習得する。Office（Word・Excel・PowerPoint）の基本操作を学び、就職先での様々な業務にスムーズに従事できる技術と実践的な活用方法を身につける。 ※情報モラルやセキュリティについての講義およびタイピング練習は、毎時間の中で適宜行う。
成績評価	授業ごとの課題提出・プレゼンテーション発表・授業への熱意と態度
その他	上野　景子（実務経験なし）

使用教材	書　籍　名	著　者　名	出版社名
教科書			
参考図書			

回数	授　業　計　画
1	コンピュータの基礎知識　＜Windowsの基本操作、タイピングの基本＞、Word文章入力
2	Word①　＜基本の使い方、ページレイアウト、図の挿入等＞
3	Word②　＜表の挿入等＞
4	Word③　＜文書作成＞
5	Excel①　＜基本の使い方、表の作成、簡単な計算＞
6	Excel②　＜関数、グラフ＞
7	Excel③　＜表・関数・グラフを使った文書の作成１＞
8	PowerPoint①　＜プレゼンテーションとは・基本操作＞
9	PowerPoint②　＜掲示物の作成＞
10	PowerPoint③　＜アニメーションの設定＞、発表する内容・構成の検討
11	PowerPoint作成（発表資料作成）①
12	PowerPoint作成（発表資料作成）②
13	PowerPoint作成（発表資料作成）③
14	発表（期末試験）　PowerPoint発表（前半）　1人3分
15	発表（期末試験）　PowerPoint発表（後半）　1人3分

九州医療スポーツ専門学校
令和 5年度　歯科衛生学科

科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野
	○		

授業科目名	コミュニケーション学					担当者名		井浦　ひとみ			
授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次		2年次		3年次	
単位数	1				授業時間数	前期	後期	前期	後期	前期	後期
								20			

授業概要	対面式授業をし、一人一人コミュニケーションをとりながらプリントを中心に進めていく。常に楽しい授業を心がけ、コミュニケーションを円滑に進めるには、相手を尊重する気持ちや相手への思いやりが大切である。「相手を思いやる気持ち」を形にしたマナーを指導する。
成績評価	テスト点、平常点（出席率、発表、提出物）を総合して評価点をつける。
その他	井浦　ひとみ（実務経験なし）

使用教材	書　籍　名	著　者　名	出版社名
教科書			
参考図書	ビジネスマナー基本テキスト	キャリア総研 吉田元治	日本能率協会 マネジメントセンター

回数	授　業　計　画
1	第1編　ビジネスマナーとコミュニケーションの基本 1.キャリアと豊かな仕事生活　1-1.働くということ　1-2.仕事への取り組み方
2	2.ビジネスマナーの基本 2-1.ビジネスマナーは社会人としての基　2-2.職場でのコミュニケーション
3	2-3.円滑なコミュニケーションのために　2-4.社会人としての身だしなみ
4	3.就業中のマナー 3-1.出社から退社までの基本ルール　3-2.仕事中の態度や行動
5	3-3.感じの良い挨拶　3-4.おじぎの基本とお客さまとの接し方
6	練習問題（模擬テスト）
7	4.指示の受け方と報告・連絡・相談 4-1.支持を受け話を聞くポイント　４－２．中間報告、相談、忠告の受け方
8	5.話し方の基本 5-1.印象が良くビジネスにふさわしい話し方　5-2.ビジネスの場にふさわしい言葉遣い
9	5-3.プレゼンテーションの基本と自己紹介　練習問題（模擬テスト）
10	まとめ

九州医療スポーツ専門学校
令和 5年度　歯科衛生学科

科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野
	○		

授業科目名	心理学	担当者名	菅　典雄

授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次		2年次		3年次	
						前期	後期	前期	後期	前期	後期
単位数	2				授業時間数			30			

授業概要	心のマネジメント、ストレスとリラクゼーション、深層心理、唯識と脳科学
成績評価	期末試験の成績による
その他	菅　典雄（実務経験なし）

使用教材	書　籍　名	著　者　名	出版社名
教科書			
参考図書			

回数	授　業　計　画
1	心理学入門
2	心理学の歴史
3	知覚と認識（１）
4	知覚と認識（２）
5	深層心理（１）
6	深層心理（２）
7	深層心理（３）
8	唯識心理学（１）
9	唯識心理学（２）
10	唯識心理学（３）
11	唯識心理学（４）
12	ストレス
13	リラクゼーション
14	自律訓練法
15	呼吸と瞑想

九州医療スポーツ専門学校
令和 5年度　歯科衛生学科

科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野
	○		

授業科目名	外国語					担当者名		工藤　和男			
授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次		2年次		3年次	
単位数	2				授業時間数	前期	後期	前期	後期	前期	後期
						30					

授業概要	「人体の器官」では人体の機能をつかさどる各器官の英語表現を、「英作文演習」では医療現場で使用される英語表現を学習する。本学習により医療従事者にとっての英語表現の基礎を習得させる。
成績評価	定期試験および再試験の結果を総合的に勘案して評価する。
その他	工藤　和男（実務経験なし）

使用教材	書　籍　名	著　者　名	出版社名
教科書			
参考図書	看護英語の基本用語と表現	著者　円城寺康子/川越栄子	メジカルビュー社

回数	授　業　計　画
1	人体の器官１（人体の各部位と臓器）、英作文演習　医療現場での英語１（外来）
2	人体の器官２（心臓／肝臓）、英作文演習　医療現場での英語２（病棟案―１）
3	人体の器官３（消化器官／消化酵素）、英作文演習　医療現場での英語３（病棟案内―２）
4	人体の器官４（膵臓の働き）、英作文演習　医療現場での英語４（食事）
5	人体の器官５（脳/耳）、英作文演習　医療現場での英語５（排泄）
6	人体の器官６（小腸と大腸）、英作文演習　医療現場での英語６（入浴）
7	人体の器官７（目／副腎）、英作文演習　医療現場での英語７（睡眠）
8	人体の器官８（皮膚の構造）、英作文演習　医療現場での英語８（病歴徴収―健康上の習慣）
9	人体の器官９（腎臓）、英作文演習　医療現場での英語９（病歴徴収―排泄）
10	人体の器官10（呼吸器／血管）、英作文演習　医療現場での英語10（病歴徴収―手術、薬、病状）
11	人体の器官11（口／歯／食道）、英作文演習　医療現場での英語11（血圧検査/体温検査）
12	人体の器官12（脊髄/末梢神経）、英作文演習　医療現場での英語12（血液検査/尿、便検査）
13	人体の器官13（体循環/血管）、英作文演習　医療現場での英語13（投薬）
14	人体の器官14（三大疾患）、英作文演習　医療現場での英語14（注射、包帯）
15	人体の器官15（免疫システム）、英作文演習　医療現場での英語15（体位）

九州医療スポーツ専門学校
令和 5年度　歯科衛生学科

科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野
	○		

授業科目名	生涯健康スポーツ論Ⅰ					担当者名		得本　啓次			
授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次		2年次		3年次	
単位数	2				授業時間数	前期	後期	前期	後期	前期	後期
						30					

授業概要	健康スポーツは身体を動かすことを楽しみ、生活に役立つ健康な身体と心を維持増進することを目的とする。 適切な指導を行えることが、今後の健康の維持増進に必要不可欠であるため、子どもから高齢者の特徴について学んでいく。 本講義は生涯スポーツトレーナー（ベーシック）の資格取得を目指す。
成績評価	レポート30%，試験70%
その他	得本啓次（実務経験なし）

使用教材	書　籍　名	著　者　名	出版社名
教科書	改訂版　生涯スポーツトレーナー教本	公益財団法人 日本健康スポーツ連盟・編集	学校法人　国際学園
参考図書	生涯スポーツトレーナーアドバンス実践編教本	公益財団法人 日本健康スポーツ連盟・編集	学校法人　国際学園

回数	授　業　計　画
1	生涯スポーツ　　ガイダンス、生涯スポーツ概論
2	トレーニング法　　イメージトレーニングの基礎知識とマインドセット
3	トレーニング法　イメージ結合法の理解と実践
4	トレーニング法　イメージトレーニングの実践、発表
5	スポーツ心理学　カウンセリング、人間の心身発達理論
6	スポーツ心理学　コミュニケーションスキル種類を理解し、方法論を学び指導に繋げる
7	スポーツマネジメント　チームマネジメント、マーケティング戦略を理解し健康社会の貢献
8	解剖生理学　解剖学、生理学の概要、骨の組織構造
9	解剖生理学　筋肉の構造とはたらき、筋収縮のメカニズム
10	解剖生理学/運動指導　子どもの身体の特徴と子どもの運動指導
11	解剖生理学/運動指導　高齢者の身体の特徴と高齢者の運動指導
12	健康科学　日常生活での運動の重要性や姿勢の大切さ
13	生涯スポーツ　日常生活で取り組める運動を学び実践
14	関連法規　生涯スポーツトレーナーに関わる法律や関連する法律
15	総括　　まとめの授業　試験対策

九州医療スポーツ専門学校
令和 5年度　歯科衛生学科

科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野
	○		

授業科目名	生涯健康スポーツ論Ⅱ	担当者名	得本　啓次

授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次		2年次		3年次	
単位数		2			授業時間数	前期	後期	前期	後期	前期	後期
							30				

授業概要	健康スポーツは身体を動かすことを楽しみ、生活に役立つ健康な身体と心を維持増進することを目的とする。適切な指導を行えることが、これからの健康の維持増進に必要不可欠であるため、子どもから高齢者の特徴について学んでいく。本授業は主に実技指導を中心に行う。 生涯スポーツトレーナー（アドバンス）の資格取得を目指す 開講の順番は変更する可能性があります。
成績評価	レポート30%，試験70%
その他	得本啓次（実務経験なし）

使用教材	書　籍　名	著　者　名	出版社名
教科書	改訂版　生涯スポーツトレーナー教本	公益財団法人日本健康スポーツ連盟・編集	学校法人　国際学園
参考図書	生涯スポーツトレーナーアドバンス実践編教本 車いすフィットネストレーナー教本 ティーボールティーチャー指導教本	公益財団法人日本健康スポーツ連盟・編集	学校法人　国際学園

回数	授　業　計　画
1	スポーツ心理学 ガイダンス、より良い人間関係を築くための心理学
2	コンディショニング　基礎理論,アライメントチェック
3	コンディショニング　コンディショニング体操
4	栄養学　スポーツ栄養学基礎、三大栄養素と五大栄養素
5	指導法　トレーニング指導法理論、トレーニング方法の理解
6	指導法　トレーニング実施と指導法、補助の実施
7	運動指導 子どもと高齢者の運動指導方法の特性と留意点
8	スポーツ医学　筋膜リリースと疲労回復
9	スポーツ医学　筋膜リリースのセルフマッサージ
10	障がいスポーツ　障がいスポーツの歴史、車いすの種類と仕組み
11	障がいスポーツ　障がい者のトレーニング適応と実技指導
12	運動指導　ティーボール　スポーツ・コンプライアンス
13	運動指導　ティーボール　ルール,審判方法,運営方法,指導法
14	運動指導　ティーボール　捕る投げる打つの基礎動作
15	運動指導　ティーボール　試合形式練習と試合運営

九州医療スポーツ専門学校
令和 5年度　歯科衛生学科

科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野
		○	

授業科目名	解剖学	担当者名	野代　悦生

授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次		2年次		3年次	
						前期	後期	前期	後期	前期	後期
単位数	2				授業時間数	30					

授業概要	人体の構造と形態を中心に機能および臨床との関連において教授する。
成績評価	中間テスト、期末試験で評価する。
その他	野代　悦生（実務経験なし）

使用教材	書　籍　名	著　者　名	出版社名
教科書	歯科衛生学シリーズ　人体の構造と機能1 解剖学・組織発生学・生理学	全国歯科衛生士教育協議会　監修	医歯薬出版株式会社
参考図書	人体解剖学	藤田恒太郎	南江堂

回数	授　業　計　画
1	解剖学概説
2	骨格系
3	筋と運動
4	消化・吸収
5	循環（血液・心臓）
6	動脈系・静脈系
7	リンパ系
8	中間テスト、解説
9	神経系
10	呼吸
11	感覚器
12	排泄
13	内分泌
14	生殖
15	総まとめ

九州医療スポーツ専門学校
令和 5年度　歯科衛生学科

科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野
		○	

授業科目名	生理学					担当者名		吉岡　香絵			
授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次		2年次		3年次	
単位数	2				授業時間数	前期	後期	前期	後期	前期	後期
						30					

授業概要	人体を構成する各要素のその個々の機能とメカニズムについて理解する。
成績評価	中間試験、期末試験で評価する。
その他	吉岡　香絵（実務経験なし）

使用教材	書　籍　名	著　者　名	出版社名
教科書	歯科衛生学シリーズ　人体の構造と機能　解剖学・組織発生学・生理学	全国歯科衛生士教育協議会　監修	医歯薬出版株式会社
参考図書			

回数	授　業　計　画
1	生理学総論、細胞と遺伝（細胞の基本的な機能について学ぶ）
2	神経系①（神経細胞の興奮と伝導）
3	神経系②（脳の機能について学ぶ①）
4	神経系③（脳の機能について学ぶ②）
5	骨、筋と運動（骨、筋の機能について学ぶ）
6	血液、体液（血液、体液の生理機能について学ぶ）
7	循環（心臓の機能について学ぶ）
8	中間試験、解説
9	消化、吸収①（栄養と代謝について学ぶ）
10	消化、吸収②（消化器系の機能について学ぶ）
11	排泄（水と電解質の調節、腎臓の機能、排尿機構について学ぶ） 体温（熱産生・放熱、体温の調節と変動について学ぶ）
12	呼吸（呼吸の機序とその調節系について学ぶ） 内分泌①（下垂体、甲状腺、副甲状腺ホルモンの生理機能と分泌制御について学ぶ）
13	内分泌②（膵臓、副腎、性腺、松果体ホルモンの生理機能と分泌制御について学ぶ）
14	感覚（感覚の種類と感覚器の機能について学ぶ） 生殖器（性周期、分娩、乳汁分泌の調節系について学ぶ）
15	まとめ（国家試験形式による練習問題）

九州医療スポーツ専門学校
令和 5年度　歯科衛生学科

科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野
		○	

授業科目名	生化学					担当者名		古株　彰一郎			
授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次		2年次		3年次	
単位数	2				授業時間数	前期	後期	前期	後期	前期	後期
						30					

授業概要	科学技術の急速な進展とともに近年医療が高度化し、バイオマーカー、遺伝子診断、分子標的薬、個別化医療などに代表されるように、多くの疾患の病態・検査・治療が細胞レベル、分子レベルで語られるようになってきた。そこで、これからの未来を歯科医療人として生きていくために、人体が営む生命現象を細胞レベル・分子レベルで理解し、歯と口腔を中心に学習していく。
成績評価	筆記試験
その他	古株　彰一郎（実務経験なし）

使用教材	書　籍　名	著　者　名	出版社名
教科書	歯科衛生学シリーズ 人体の構造と機能2 栄養と代謝	全国歯科衛生士教育協議会　監修	医歯薬出版株式会社
参考図書			

回数	授　業　計　画
1	生体の構成要素
2	細胞と細胞内小器官および酵素
3	消化と吸収、糖質代謝その１
4	糖質代謝その２、脂質代謝
5	タンパク質とアミノ酸代謝
6	遺伝子とDNA複製・修復
7	転写、翻訳、修飾
8	免疫の遺伝子
9	結合組織
10	歯の無機成分と有機成分
11	石灰化のしくみ
12	唾液の生化学
13	情報伝達（サイトカイン・ホルモン）
14	がんの生化学、細胞周期、アポトーシス
15	国家試験対策

九州医療スポーツ専門学校
令和 5年度　歯科衛生学科

科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野
		○	

授業科目名	組織発生学	担当者名	松山　佳永

授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次		2年次		3年次	
						前期	後期	前期	後期	前期	後期
単位数	1				授業時間数		20				

授業概要	ヒトの顕微鏡レベルの構造と、人体の発生の仕組みについて学習する
成績評価	記述試験
その他	松山　佳永（実務経験なし）

使用教材	書　籍　名	著　者　名	出版社名
教科書	歯科衛生学シリーズ 人体の構造と機能1 解剖学・組織発生学・生理学 /歯科衛生学シリーズ 歯・口腔の構造と機能 口腔解剖学・口腔組織発生学・口腔生理学	全国歯科衛生士教育協議会　監修	医歯薬出版株式会社
参考図書			

回数	授　業　計　画
1	細胞と組織
2	人体の発生　１
3	人体の発生　２
4	歯と歯周組織の発生　１
5	歯と歯周組織の発生　２
6	歯の構造　１
7	歯の構造　２
8	歯周組織の構造
9	口腔　粘膜と舌
10	唾液腺

九州医療スポーツ専門学校
令和 5年度　歯科衛生学科

科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野
		○	

授業科目名	口腔解剖学					担当者名		松山　佳永			
授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次		2年次		3年次	
単位数	2				授業時間数	前期	後期	前期	後期	前期	後期
						30					

授業概要	口腔解剖学では、頭頸部の骨、筋、脈管、神経などの構造を学習し、歯科医療に必要な解剖学的な知識を習得していく。
成績評価	記述試験
その他	松山　佳永（実務経験なし）

使用教材	書　籍　名	著　者　名	出版社名
教科書	歯科衛生学シリーズ 歯・口腔の構造と機能 口腔解剖学・口腔組織発生学・口腔生理学	全国歯科衛生士教育協議会　監修	医歯薬出版株式会社
参考図書			

回数	授　業　計　画
1	総論
2	頭頸部の骨　１
3	頭頸部の骨　２
4	頭頸部の筋　１
5	頭頸部の筋　２
6	頭頸部の筋　３
7	顎関節・まとめ　１
8	頭頸部の脈管系　１
9	頭頸部の脈管系　２
10	頭頸部の神経　１
11	頭頸部の神経　２
12	頭頸部の神経　３
13	舌と唾液腺
14	咽頭と喉頭
15	まとめ　２

九州医療スポーツ専門学校
令和 5年度　歯科衛生学科

科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野
		○	

授業科目名	口腔生理学					担当者名		引地　尚子			
授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次		2年次		3年次	
単位数	2				授業時間数	前期	後期	前期	後期	前期	後期
						30					

授業概要	歯や口腔とその周囲組織の生理機能を理解することを目的とする。
成績評価	中間試験　期末試験により評価する。授業態度や出席率も評価の対象とする。
その他	引地　尚子（実務経験なし）

使用教材	書　籍　名	著　者　名	出版社名
教科書	歯科衛生学シリーズ 歯・口腔の構造と機能 口腔解剖学・口腔組織発生学・口腔生理学	全国歯科衛生士教育協議会　監修	医歯薬出版株式会社
参考図書			

回数	授　業　計　画
1	歯の感覚
2	口腔粘膜の感覚
3	味覚　その１
4	味覚　その２
5	嗅覚
6	咬合､咀嚼・吸啜　その１
7	咬合､咀嚼・吸啜　その２
8	中間テスト、解説
9	嚥下と嘔吐　その１
10	嚥下と嘔吐　その２
11	嚥下と嘔吐　その３
12	発声　その１
13	発声　その２
14	唾液　その１
15	唾液　その２

九州医療スポーツ専門学校
令和 5年度　歯科衛生学科

科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野
		○	

授業科目名	歯牙解剖学					担当者名		瀬田　祐司			
授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次		2年次		3年次	
単位数	2				授業時間数	前期	後期	前期	後期	前期	後期
							30				

授業概要	歯牙解剖学では歯の構造を学習し、歯科医療に必要な解剖学的知識を習得することを目的とする。
成績評価	期末試験により評価を行う。
その他	瀬田　祐司（実務経験なし）

使用教材	書　籍　名	著　者　名	出版社名
教科書	歯科衛生学シリーズ 歯・口腔の構造と機能 口腔解剖学・口腔組織発生学・口腔生理学	全国歯科衛生士教育協議会　監修	医歯薬出版株式会社
参考図書			

回数	授　業　計　画
1	歯牙解剖の基礎知識
2	永久歯１（前歯）
3	永久歯２（小臼歯）
4	永久歯３（大臼歯）
5	乳歯
6	歯牙スケッチ実習
7	歯牙鑑別実習
8	歯の組織（エナメル質）
9	歯の組織（象牙質・歯髄）
10	歯の組織（歯周組織１）
11	歯の組織（歯周組織２）
12	歯の発生１
13	歯の発生２
14	歯型彫刻実習１
15	歯型彫刻実習２

九州医療スポーツ専門学校
令和 5年度　歯科衛生学科

科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野
		○	

授業科目名	病理学	担当者名	松尾　拡

授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次		2年次		3年次	
						前期	後期	前期	後期	前期	後期
単位数	2				授業時間数		30				

授業概要	病理学とは生体に起こる病的な状態（病気、疾病）の本態を追求する学問であり、病気を起こす原因、それぞれの病気で生じてくる変化、その経過、そしてそれがためにたどる転帰を一本の軸とし、関連する事項をも含めて論ぜられる。本講義においては病気を総論的視点から一般的通則として把握することを主眼として講義を行い、並行して行われる口腔病理学講義の内容を理解する上でも必要不可欠の基礎的項目を教授する。
成績評価	中間試験、期末試験で評価する。 授業態度や出席率も評価対象とする。
その他	松尾　拡（実務経験なし）

使用教材	書　籍　名	著　者　名	出版社名
教科書	歯科衛生学シリーズ 疾病の成り立ち及び回復過程の促進1 病理学・口腔病理学	全国歯科衛生士教育協議会　監修	医歯薬出版株式会社
参考図書			

回数	授　業　計　画
1	第1章　病理学序論と病因論、 第2章　遺伝性疾患と先天異常（１）
2	第2章　遺伝性疾患と先天異常（２）、第4章　代謝障害と退行性病変（１）
3	第4章　代謝障害と退行性病変（２）
4	第5章　増殖と修復（１）
5	第5章　増殖と修復（２）、第3章　循環障害（１）
6	第3章　循環障害（２）
7	第6章　炎症と免疫応答異常（１）
8	中間試験（第1章～第3章）と解説、　第6章　炎症と免疫応答異常（２）
9	第6章　炎症と免疫応答異常（３）
10	第6章　炎症と免疫応答異常（４）
11	第6章　炎症と免疫応答異常（５）
12	第6章　炎症と免疫応答異常（６）
13	第7章　腫瘍（１）
14	第7章　腫瘍（２）
15	第7章　腫瘍（３）

九州医療スポーツ専門学校
令和 5年度　歯科衛生学科

科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野
		○	

授業科目名	口腔病理学					担当者名		松尾　拡			
授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次		2年次		3年次	
単位数	2				授業時間数	前期	後期	前期	後期	前期	後期
							30				

授業概要	病理学講義が病気を総論的視から一般的通則として把握することを主眼とするのに対し、本講義は病理学における一各論と位置付けられ、口腔顎顔面領域という臓器・組織の特殊性を十分把握しながら、そこに起こる病変の特徴などについて理解することを主眼とする。口腔顎顔面領域の各病変について、組織・細胞レベルから歯科臨床に直結する内容にわたり歯科医療に携わるものとして必須の項目について教授する。
成績評価	中間試験、期末試験で評価する。 授業態度や出席率も評価対象とする。
その他	松尾　拡（実務経験なし）

使用教材	書　籍　名	著　者　名	出版社名
教科書	歯科衛生学シリーズ 疾病の成り立ち及び回復過程の促進1 病理学・口腔病理学	全国歯科衛生士教育協議会　監修	医歯薬出版株式会社
参考図書			

回数	授　業　計　画
1	第1章　歯の発育異常
2	第2章　歯の損傷と着色・付着物、第3章　う蝕（１）
3	第3章　う蝕（２）、第4章　象牙質・歯髄複合体の病態（１）
4	第4章　象牙質・歯髄複合体の病態（２）、第5章　歯周組織の病態（１）
5	第5章　歯周組織の病態（２）、第6章　口腔粘膜の病変（１）
6	第6章　口腔粘膜の病変（２）
7	第7章　口腔領域の嚢胞と腫瘍（１）
8	中間試験（第1章～第5章）と解説、　第7章　口腔領域の嚢胞と腫瘍（２）
9	第7章　口腔領域の嚢胞と腫瘍（３）、第8章　口腔癌（１）
10	第8章　口腔癌（２）
11	第9章　顎骨の病変（１）
12	第9章　顎骨の病変（２）
13	第10章　唾液腺の病変（１）
14	第10章　唾液腺の病変（２）、第11章　口腔領域の奇形（形態異常）（１）
15	第11章　口腔領域の奇形（形態異常）（２）、第12章　口腔組織の加齢変化

九州医療スポーツ専門学校
令和 5年度　歯科衛生学科

科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野
		○	

授業科目名	微生物学・口腔微生物学	担当者名	山﨑　亮太

授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次		2年次		3年次	
単位数	2				授業時間数	前期	後期	前期	後期	前期	後期
							30				

授業概要	微生物はヒトの生活と密接に関わっている。その中で、ヒトに感染症を引き起こす微生物を病原微生物という。授業では、病原微生物の特性（分類、性質、病原性、伝播）、感染症の発症機序、感染症に対する免疫機構、予防法、薬物治療法などの基礎知識を修得して微生物に関する知識を得ることにより、感染症の仕組みを理解し感染防御に役立てることを目指す。
成績評価	定期試験
その他	山﨑　亮太（実務経験なし）

使用教材	書　籍　名	著　者　名	出版社名
教科書	歯科衛生学シリーズ 疾病の成り立ち及び回復過程の促進2 微生物学	全国歯科衛生士教育協議会　監修	医歯薬出版株式会社
参考図書			

回数	授　業　計　画
1	疾病と微生物
2	微生物の病原性　１
3	微生物の病原性　２
4	微生物の病原性　３
5	宿主防御機構と免疫　１
6	宿主防御機構と免疫　２
7	宿主防御機構と免疫　３
8	中間試験
9	口腔微生物学
10	口腔感染症　１
11	口腔感染症　２
12	化学療法
13	院内感染対策と滅菌・消毒
14	細菌培養・顕微鏡観察
15	試験対策・総復習

九州医療スポーツ専門学校
令和 5年度　歯科衛生学科

科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野
		○	

授業科目名	薬理学・歯科薬理学	担当者名	竹内　弘

授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次		2年次		3年次	
単位数	2				授業時間数	前期	後期	前期	後期	前期	後期
							30				

授業概要	医療従事者に必要となる、薬と生体の関わりについての基本的知識を理解する。 総論では薬物療法を理解する上で必要となる基本的な用語、薬の作用機序、薬の体内での運命、薬の効き方に影響する因子、薬の有害作用について学ぶ。各論では、歯科医療で使用される薬物や、歯科臨床現場で遭遇する頻度の高い疾患の治療に用いる薬物を中心に作用機序や副作用について学ぶ。
成績評価	筆記試験
その他	竹内　弘　（実務経験なし）

使用教材	書　籍　名	著　者　名	出版社名
教科書	歯科衛生学シリーズ 疾病の成り立ち及び回復過程の促進3 薬理学	全国歯科衛生士教育協議会　監修	医歯薬出版株式会社
参考図書			

回数	授　業　計　画
1	薬理学総論 ①（薬理学とは、薬物の取扱い、薬物と法律・薬物と医薬品）
2	薬理学総論 ②（薬物療法の種類、薬理作用の基本形式、用量）
3	薬理学総論 ③（薬物の適用方法、血中濃度、薬物動態）
4	薬理学総論 ④（薬物の作用に影響を与える要因）
5	薬理学総論 ⑤（薬物の副作用、有害作用）
6	末梢神経系に作用する薬物
7	循環器系に作用する薬物
8	前半の振り返り
9	局所麻酔薬
10	炎症と薬、痛みと薬
11	血液に作用する薬物、ビタミンとホルモン、代謝性疾患
12	消化器系に作用する薬物、呼吸器系に作用する薬物、抗アレルギー薬
13	抗感染症薬、消毒薬
14	免疫作用薬と抗悪性腫瘍薬
15	中枢神経系に作用する薬物

九州医療スポーツ専門学校
令和 5年度　歯科衛生学科

科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野
		○	

授業科目名	関係法規					担当者名		引地　尚子			
授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次		2年次		3年次	
単位数	1				授業時間数	前期	後期	前期	後期	前期	後期
								20			

授業概要	関係法規は、専門基礎分野の科目でもある「歯・口腔の健康と予防に関わる人間と社会の仕組み」に位置づけられる。授業では、衛生行政の目的と組織、法の分類、歯科衛生士法、歯科医師法、歯科技工士法、その他の医療関係職種の法規、薬事に関する法規、地域保健に関連する法規、社会保険に関する法規および社会福祉行政の概要などについて講義する。
成績評価	中間試験および期末試験で評価する。
その他	引地　尚子（実務経験なし）

使用教材	書　籍　名	著　者　名	出版社名
教科書	歯科衛生学シリーズ 歯・口腔の健康と予防に関わる人間と社会の仕組み2 保健・医療・福祉の制度	全国歯科衛生士教育協議会　監修	医歯薬出版株式会社
参考図書			

回数	授　業　計　画
1	法の概念、医療法
2	歯科衛生士法①
3	歯科衛生士法②、歯科医師法、歯科技工士法
4	その他の医療関係職種の法規①
5	中間試験、その他の医療関係職種の法規②
6	その他の関係法規（地域保健関連法規等）①
7	その他の関係法規（薬事関連法規等）②
8	社会保障（医療保険）①
9	社会保障（介護保険等）②
10	社会保障（社会福祉）③、医療の動向

九州医療スポーツ専門学校
令和 5年度　歯科衛生学科

科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野
		○	

授業科目名	口腔衛生学					担当者名		久保田　浩三			
授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次		2年次		3年次	
単位数	2				授業時間数	前期	後期	前期	後期	前期	後期
						20	20				

授業概要	歯・口腔の健康に関わる社会の仕組みを理解し，歯科疾患の予防能力を高める態度を養うために、歯・口腔の健康と予防に関する基本的知識を習得する。
成績評価	期末試験、出席、レポートで評価する。
その他	久保田　浩三（大学病院において歯科医師として勤務）

使用教材	書　籍　名	著　者　名	出版社名
教科書	歯科衛生学シリーズ 歯・口腔の健康と予防に関わる人間と社会の仕組み1 保健生態学	全国歯科衛生士教育協議会　監修	医歯薬出版株式会社
参考図書			

回数	授　業　計　画
1	1章　総論　①歯・口腔の健康と予防
2	1章　総論　②歯・口腔の健康
3	1章　総論　③歯・口腔の付着物・沈着物
4	2章　口腔清掃　①口腔清掃の意義　②口腔清掃法
5	2章　口腔清掃　③人工的清掃法の分類と用具　④不適切な口腔清掃による為害作用
6	2章　口腔清掃　④不適切な口腔清掃による為害作用　⑤歯磨剤と洗口剤
7	3章　歯科疾患の疫学について—う蝕の疫学、歯周病の疫学
8	3章　歯科疾患の疫学について—歯周病の疫学、その他の疫学
9	4章　う蝕の予防　①～②う蝕発生のメカニズムと発生要因
10	4章　③～④う蝕活動性とう蝕の予防法

九州医療スポーツ専門学校
令和 5年度　歯科衛生学科

科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野
		○	

授業科目名	口腔衛生学					担当者名		久保田　浩三			
授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次		2年次		3年次	
単位数	2				授業時間数	前期	後期	前期	後期	前期	後期
						20	20				

授業概要	歯・口腔の健康に関わる社会の仕組みを理解し，歯科疾患の予防能力を高める態度を養うために、歯・口腔の健康と予防に関する基本的知識を習得する。
成績評価	期末試験、出席、レポートで評価する。
その他	久保田　浩三（大学病院において歯科医師として勤務）

使用教材	書　籍　名	著　者　名	出版社名
教科書	歯科衛生学シリーズ 歯・口腔の健康と予防に関わる人間と社会の仕組み1 保健生態学	全国歯科衛生士教育協議会　監修	医歯薬出版株式会社
参考図書			

回数	授　業　計　画
1	5章　フッ化物によるう蝕予防①～④
2	5章　フッ化物によるう蝕予防⑤～⑦フッ化物洗口
3	5章　フッ化物によるう蝕予防⑦フッ化物歯磨剤⑧～⑨
4	6章　歯周疾患の予防①～②
5	6章　歯周疾患の予防③～④
6	7章　その他の疾患・異常の予防について①～④
7	7章　その他の疾患・異常の予防について⑤～⑦
8	8章　ライフステージごとの口腔保健管理　①口腔保健管理の目標　②母子口腔保健
9	8章　ライフステージごとの口腔保健管理　③小児期の口腔保健　④成人期・老年期の口腔保健
10	歯科予防処置のまとめ、国試対策

九州医療スポーツ専門学校
令和 5年度　歯科衛生学科

科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野
		○	

授業科目名	衛生学・公衆衛生学					担当者名		五島　志織			
授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次		2年次		3年次	
単位数	2				授業時間数	前期	後期	前期	後期	前期	後期
						30					

授業概要	衛生学・公衆衛生学に関する概論と、各論として衛生統計、感染対策、環境と健康の関連、公衆衛生の主要な概念、行政組織、地域保健、および国際保健について学ぶ。
成績評価	中間試験　期末試験により評価する。
その他	五島　志織（実務経験なし）

使用教材	書　籍　名	著　者　名	出版社名
教科書	歯科衛生学シリーズ 歯・口腔の健康と予防に関わる人間と社会の仕組み1 保健生態学	全国歯科衛生士教育協議会　監修	医歯薬出版株式会社
参考図書			

回数	授　業　計　画
1	衛生学・公衆衛生学の概念、予防医学の概念、疫学の方法
2	人口統計
3	健康と環境　環境概念、空気・水、放射線、住居、衣服
4	健康と環境　地球環境、公害、廃棄物
5	感染症
6	感染症　予防接種、感染症種類
7	食品と健康
8	中間試験
9	地域保健の概念
10	地域保健
11	母子保健、学校保健
12	学校保健、成人保健
13	産業保健、高齢者保健
14	精神保健、災害時の保健
15	国際保健

九州医療スポーツ専門学校
令和 5年度　歯科衛生学科

科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野
		○	

授業科目名	衛生行政・社会福祉					担当者名		秋房　住郎			
授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次		2年次		3年次	
単位数	2				授業時間数	前期	後期	前期	後期	前期	後期
								30			

授業概要	歯科衛生士として必要な法律に関する知識、衛生行政の現状と課題及び対策、社会福祉について概説する。
成績評価	期末試験
その他	秋房　住郎（実務経験なし）

使用教材	書　籍　名	著　者　名	出版社名
教科書	歯科衛生学シリーズ 歯・口腔の健康と予防に関わる人間と社会の仕組み2 保健・医療・福祉の制度	全国歯科衛生士教育協議会　監修	医歯薬出版株式会社
参考図書			

回数	授　業　計　画
1	衛生行政の概要
2	歯科衛生士法（１）
3	歯科衛生士法（２）
4	歯科衛生士法（３）
5	歯科医師法
6	歯科口腔保健法
7	医療法
8	他職種の身分法
9	薬事に関連する法規
10	地域保健に関連する法規（１）
11	地域保健に関連する法規（２）
12	社会保障の概要
13	介護保険、年金
14	雇用保険、生活保護
15	医療の動向

九州医療スポーツ専門学校
令和 5年度　歯科衛生学科

科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野
			○

授業科目名	歯科衛生士概論				担当者名	下野　あゆみ					
授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次		2年次		3年次	
単位数	1				授業時間数	前期	後期	前期	後期	前期	後期
						20					

授業概要	歯科衛生の現状を理解し、人びとの健康づくりを支援するための基本的な知識および論理的思考法の基礎を習得する。
成績評価	期末テスト、授業態度により評価する。
その他	下野あゆみ（歯科診療所において歯科衛生士として勤務）

使用教材	書　籍　名	著　者　名	出版社名
教科書	歯科衛生学シリーズ　歯科衛生学総論	全国歯科衛生士教育協議会　監修	医歯薬出版株式会社
参考図書			

回数	授　業　計　画
1	歯科衛生学とは　概要
2	歯科衛生と健康
3	歯科衛生の歴史
4	歯科衛生活動のための理論（予防の概念）
5	歯科衛生活動のための理論（ICF/EBM/クリティカルシンキング）
6	歯科衛生過程（歯科衛生過程とは　演習）
7	歯科衛生士法と歯科衛生士業務
8	歯科衛生士の活動
9	歯科衛生士と医療倫理（インフォームドコンセント・インフォームドチョイス・セカンドオピニオン）
10	多職種協働・他職種の理解

九州医療スポーツ専門学校
令和 5年度　歯科衛生学科

科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野
			○

授業科目名	医療倫理学					担当者名		久保田　浩三			
授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次		2年次		3年次	
単位数	1				授業時間数	前期	後期	前期	後期	前期	後期
							20				

授業概要	倫理問題に配慮して医療、歯科医療を行うために、生命と医療に関わる倫理の重要性を理解する。到達目標：　①生命の尊厳について説明できる。　②生と死に関わる倫理的問題を説明できる。③生命倫理・医療倫理の歴史経過と諸問題を概説できる。④医の倫理に関する規範を概説できる。
成績評価	期末テスト、授業態度や出席率も評価対象とする。
その他	久保田　浩三（実務経験なし）

使用教材	書　籍　名	著　者　名	出版社名
教科書	歯科衛生学シリーズ　歯科医療倫理学	全国歯科衛生士教育協議会　監修	医歯薬出版株式会社
参考図書			

回数	授　業　計　画
1	1章　なぜ医療倫理を学ぶのか
2	2章　医療倫理に関する規範とバイオエシックス
3	3章　インフォームド・コンセント
4	4章　研究と医療倫理
5	付章　歯科医療倫理を考えるうえで必要な行動
6	付章　歯科医療倫理を考えるうえで必要な行動
7	個人情報について（グループワーク）
8	著作権について（グループワーク）
9	付２　医療倫理に関連する規範と法令
10	人を対象とする研究と倫理審査に関して　　国家試験問題の検討

九州医療スポーツ専門学校
令和 5年度　歯科衛生学科

科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野
			○

授業科目名	歯科臨床概論				担当者名	竹原　直道					
授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次		2年次		3年次	
単位数	1				授業時間数	前期	後期	前期	後期	前期	後期
								30			

授業概要	教科書に準拠し、これを縦糸とし幅広く歯科衛生士になるにあたって必要な知識と考え方を身につける。個々の項目の重要性とともに、臨床に共通する一般的な常識に重点を置いた考え方を縦糸として理解できるように配慮したい。、例えば消毒、インフォームド・コンセント、医療事故、医療倫理、歯科衛生士-患者関係、歯科衛生士一歯科医師関係、看護師などとの間で、医学知識が共有できるような視点から講義を進める。
成績評価	中間試験並びに期末試験結果
その他	竹原　直道（大学病院において歯科医師として勤務）

使用教材	書　籍　名	著　者　名	出版社名
教科書	歯科衛生士のための歯科臨床概論　第2版	松井恭平・森崎市治郎ら　編	医歯薬出版株式会社
参考図書			

回数	授　業　計　画
1	歯科診療とは、歯科診療所　練習問題
2	歯科診療所における業務　練習問題
3	歯科診療の流れ、歯科診療で行うこと　練習問題
4	歯周組織の検査、痛みのコントロール　練習問題
5	小児歯科と先天異常・う蝕予防処置　練習問題
6	高齢者の特徴①　練習問題
7	高齢者の特徴②、医療安全と消毒　練習問題
8	中間テスト　解答と解説
9	小児歯科と先天異常・う蝕予防処置　練習問題
10	医療面接、患者と歯科衛生士の関係　練習問題
11	全身疾患と歯科　練習問題
12	復習　練習問題①
13	復習　練習問題②
14	復習　練習問題③
15	まとめ　補遺

九州医療スポーツ専門学校
令和 5年度　歯科衛生学科

科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野
			○

授業科目名	保存修復学	担当者名	世良　優裕

授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次		2年次		3年次	
単位数	1				授業時間数	前期	後期	前期	後期	前期	後期
							30				

授業概要	本科目では歯の硬組織疾患の治療を対象とする保存修復学の基礎を学び、保存修復における歯科衛生士の役割を理解する。
成績評価	中間試験、期末試験で評価する。
その他	世良　優裕（大学病院において歯科医師として勤務）

使用教材	書　籍　名	著　者　名	出版社名
教科書	歯科衛生学シリーズ　保存修復学・歯内療法学	全国歯科衛生士教育協議会　監修	医歯薬出版株式会社
参考図書			

回数	授　業　計　画
1	概論
2	歯の硬組織疾患の種類と病態
3	う蝕の好発部位、窩洞
4	保存修復治療の概要
5	コンポジットレジン修復１（組成、種類、歯質接着）
6	コンポジットレジン修復２（器材、特徴、手順）
7	セメント修復
8	中間試験、解説
9	インレー修復１（分類、メタルインレー修復）
10	インレー修復２（セラミックインレー修復、コンポジットインレー修復）
11	ベニア修復
12	合着材、接着材
13	保存修復における歯科衛生士の役割１
14	保存修復における歯科衛生士の役割２
15	まとめ

九州医療スポーツ専門学校
令和 5年度　歯科衛生学科

科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野
			○

授業科目名	歯内療法学					担当者名		藤元　政考			
授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次		2年次		3年次	
単位数	1				授業時間数	前期	後期	前期	後期	前期	後期
							30				

授業概要	歯の硬組織、歯髄、根尖周囲組織の疾患や傷害に対する診断、予防を学ぶ学問である。本科目では、歯内療法の基礎を学び、歯内療法に関する診療補助の能力を習得することを目的とする。
成績評価	期末試験
その他	藤元　政考（大学病院、歯科診療所において歯科医師として勤務）

使用教材	書　籍　名	著　者　名	出版社名
教科書	歯科衛生学シリーズ　保存修復学・歯内療法学	全国歯科衛生士教育協議会　監修	医歯薬出版株式会社
参考図書			

回数	授　業　計　画
1	歯内治療概論
2	歯髄炎①
3	歯髄炎②
4	根尖性歯周炎①
5	根尖性歯周炎②
6	歯髄の保存療法
7	歯髄の除去療法
8	根管治療①
9	根管治療②
10	根管充填
11	外科的歯内治療／外傷
12	歯内治療の安全対策
13	歯内治療における歯科衛生士の役割①
14	歯内治療における歯科衛生士の役割②
15	歯内治療まとめ

九州医療スポーツ専門学校
令和 5年度　歯科衛生学科

科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野
			○

授業科目名	歯周治療学					担当者名		久保田　浩三			
授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次		2年次		3年次	
単位数	1				授業時間数	前期	後期	前期	後期	前期	後期
								30			

授業概要	歯周治療学では、歯周病の分類や原因、治療法について学ぶ。歯周組織の病気である歯周病は、デンタルカリエスとともに歯を喪失する原因として重要視されている。この疾患の予防と治療に関して包括的に学び、歯を維持していくことを学ぶ。また、歯を保存することによる全身の健康維持に関与することを理解する。
成績評価	期末テスト、授業態度や出席率も評価対象とする。
その他	久保田　浩三（大学病院において歯科医師として勤務）

使用教材	書　籍　名	著　者　名	出版社名
教科書	歯科衛生学シリーズ　歯周病学	全国歯科衛生士教育協議会　監修	医歯薬出版株式会社
参考図書			

回数	授　業　計　画
1	歯周治療とは（歯周疾患の現状と治療、歯科衛生業務と歯周治療）
2	正常な歯周組織の構造と機能（歯周病に罹患した歯周組織）
3	歯周病の分類と原因（過去の歯周疾患の分類と現在の歯周病学会分類について説明しその症状について説明する）
4	歯周病の原因（歯周病の発症について概説すると共に病態を説明する）
5	歯周医学、インプラント周囲炎（歯周病と関連性があると言われている全身疾患との関連性、治療時の注意事項、管理法等について）
6	歯周治療の実際（歯周治療の進め方）
7	歯周病の検査（歯周疾患の診査の意義と方法について説明）
8	歯周基本治療（原因除去療法としての歯周基本治療の意義と必要性と効果特について）
9	歯周外科治療（歯周治療における歯周外科の位置付け、歯周外科の種類について）
10	歯周外科の器具とアシスタント法（歯周外科に使用される外科器具について，使用法、使用目的また、歯周外科時のアシスタント法について）
11	歯周治療としての口腔機能回復治療（歯内・歯周病変、歯内病変と歯周病変が合併したもので，発症、分類、治療法について）
12	メインテナンスとは（歯周治療で基本治療と共に必ず行う必要がある治療過程でその治療法、間隔とアセスメントについて）
13	歯周治療としての口腔機能回復治療（咬合治療）
14	歯周治療における歯科衛生士の業務①
15	歯周治療における歯科衛生士の業務②（歯周治療における歯科衛生士の役割）

九州医療スポーツ専門学校
令和 5年度　歯科衛生学科

科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野
			○

授業科目名	歯科補綴学					担当者名		安増　絵理			
授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次		2年次		3年次	
単位数	1				授業時間数	前期	後期	前期	後期	前期	後期
								30			

授業概要	歯科補綴治療に関する基礎知識および治療の実際を教授するとともに歯科衛生士の役割について確認する.
成績評価	期末試験により評価する。
その他	安増　絵理（大学病院において歯科医師として勤務）

使用教材	書　籍　名	著　者　名	出版社名
教科書	歯科衛生学シリーズ　歯科補綴学	全国歯科衛生士教育協議会　監修	医歯薬出版株式会社
参考図書			

回数	授　業　計　画
1	歯科補綴治療の意義と目的
2	補綴装置（クラウン・ブリッジ）
3	補綴装置（クラウン・ブリッジ）
4	補綴装置（有床義歯）
5	補綴装置（有床義歯）
6	補綴装置（インプラント、特殊口腔内装置）
7	歯科補綴治療の基礎知識
8	歯科補綴治療の基礎知識
9	歯科補綴治療における各種検査
10	クラウン・ブリッジ治療
11	クラウン・ブリッジ治療
12	有床義歯治療
13	有床義歯治療
14	インプラント治療
15	まとめ

九州医療スポーツ専門学校
令和 5年度　歯科衛生学科

科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野
			○

授業科目名	口腔外科学					担当者名		鶴島　弘基、三次　翔			
授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次		2年次		3年次	
単位数	1				授業時間数	前期	後期	前期	後期	前期	後期
							30				

授業概要	口腔顎顔面領域における各種疾患および口腔に関連した全身疾患について学ぶ。口腔外科疾患の診断と治療、口腔病変と全身疾患との関わり、歯科治療における全身管理、口腔外科患者と歯科衛生士の関わりを習得する。
成績評価	試験および授業態度
その他	鶴島弘基（大学病院において歯科医師として勤務）/三次翔（大学病院において歯科医師として勤務）

使用教材	書　籍　名	著　者　名	出版社名
教科書	歯科衛生学シリーズ　口腔外科学・歯科麻酔学	全国歯科衛生士教育協議会　監修	医歯薬出版株式会社
参考図書			

回数	授　業　計　画
1	口腔外科学総論　（鶴島）
2	顎顔面領域の先天疾患と発育異常　（鶴島）
3	顎顔面領域の損傷および機能障害　（鶴島）
4	顎関節疾患　（鶴島）
5	口腔粘膜の病変　（鶴島）
6	口腔粘膜の病変　（鶴島）
7	顎口腔領域の化膿性炎症性病変　（鶴島）
8	顎口腔領域の嚢胞性病変　（鶴島）
9	顎口腔領域の腫瘍および腫瘍類似疾患　（三次）
10	顎口腔領域の腫瘍および腫瘍類似疾患　（三次）
11	唾液腺疾患　（三次）
12	口腔領域の神経疾患　（三次）
13	口腔外科診療の実際　（三次）
14	口腔外科診療の実際　（三次）
15	まとめ　（三次）

九州医療スポーツ専門学校
令和 5年度　歯科衛生学科

科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野
			○

授業科目名	歯科麻酔学（救急叢生含む）	担当者名	原野　望

授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次		2年次		3年次	
						前期	後期	前期	後期	前期	後期
単位数	1				授業時間数			20			

授業概要	歯科治療は生体にとって侵害刺激となる。この刺激を制御して生体を防御することは非常に重要である。 そのため必要不可欠なスキルである全身管理に重点を置き、薬物調整法や疼痛の発生ならびに緊急時における対処法、救急蘇生法、応急手当まで修得する。
成績評価	定期試験、授業態度、出席状況
その他	原野　望（大学病院において歯科医師として勤務）

使用教材	書　籍　名	著　者　名	出版社名
教科書	歯科衛生学シリーズ　口腔外科学・歯科麻酔学	全国歯科衛生士教育協議会　監修	医歯薬出版株式会社
参考図書	歯科麻酔学　第8版	福島　和昭	医歯薬出版株式会社

回数	授　業　計　画
1	歯科治療における歯科麻酔と患者管理
2	基礎疾患と歯科治療①
3	基礎疾患と歯科治療②
4	基礎疾患と歯科治療③
5	局所麻酔①
6	局所麻酔②
7	精神鎮静法
8	全身麻酔法
9	救急蘇生法①
10	救急蘇生法②

九州医療スポーツ専門学校
令和 5年度　歯科衛生学科

科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野
			○

授業科目名	小児歯科学					担当者名		渡辺　幸嗣			
授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次		2年次		3年次	
単位数	1				授業時間数	前期	後期	前期	後期	前期	後期
								30			

授業概要	小児における歯科診療について、概論および疾患や治療法の基礎知識、また実際の歯科診療補助について学ぶ。
成績評価	中間試験、期末試験で評価する。
その他	渡辺　幸嗣（大学病院において歯科医師として勤務）

使用教材	書　籍　名	著　者　名	出版社名
教科書	歯科衛生学シリーズ　小児歯科学	全国歯科衛生士教育協議会　監修	医歯薬出版株式会社
参考図書			

回数	授　業　計　画
1	小児歯科総論
2	心身の発育
3	小児の生理的特徴
4	顔面頭蓋の発育
5	歯の発育とその異常
6	歯列・咬合の発育と異常
7	小児の歯科疾患
8	中間テスト
9	小児虐待
10	小児期の特徴と歯科的問題点 小児歯科における患者との対応法
11	小児歯科における診療体系①
12	小児歯科における診療体系②
13	障害児の歯科治療
14	う蝕予防
15	口腔保健管理 歯科診療室と器材の管理

九州医療スポーツ専門学校
令和 5年度　歯科衛生学科

科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野
			○

授業科目名	高齢者・障害者歯科疾患論				担当者名	柿木　保明					
授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次		2年次		3年次	
単位数	1				授業時間数	前期	後期	前期	後期	前期	後期
								30			

授業概要	高齢者及び障害者にみられる歯科口腔疾患を理解して、社会福祉や制度とともに、歯科予防処置や口腔衛生管理、歯科保健指導、歯科診療補助、機能訓練を学ぶ。また、関連する全身疾患や口腔との関係についても学ぶ。
成績評価	中間試験、期末試験により評価する。
その他	柿木　保明（大学病院において歯科医師として勤務）

使用教材	書　籍　名	著　者　名	出版社名
教科書	歯科衛生士講座　高齢者歯科学　第3版/歯科衛生士講座　障害者歯科学　第3版	森戸光彦/柿木保明 野本たかと等編集主幹	永末書店/永末書店
参考図書			

回数	授　業　計　画
1	高齢者・障害者と社会福祉、介護保険
2	地域医療と高齢者・障害者
3	歯科衛生士と口腔ケア・口腔保健管理
4	加齢の科学
5	高齢者の口腔疾患
6	全身状態の把握と対応
7	高齢者歯科医療と診療補助
8	中間テスト、摂食嚥下リハビリテーション
9	障害の分類と特徴
10	障害者歯科医療と診療補助
11	歯科衛生士と医療安全
12	行動調整とコミュニケーション
13	歯科保健指導と口腔衛生管理
14	高齢者・障害者と社会福祉、介護保険障害者歯科の予防処置、医療連携
15	まとめ

九州医療スポーツ専門学校
令和 5年度　歯科衛生学科

科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野
			○

授業科目名	矯正歯科学					担当者名		郡司掛　香織			
授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次		2年次		3年次	
単位数	1				授業時間数	前期	後期	前期	後期	前期	後期
							30				

授業概要	歯科矯正学の基本的な知識の学習 歯科衛生士の役割の学習 矯正歯科治療の一般的な流れや不正咬合の解決法の学習 実際に歯科衛生士が臨床現場で行う手技の学習 歯科全般に関わる一般的な知識の学習
成績評価	8回目に中間試験を実施する。 期末試験では第1回から第15回までの講義内容から出題し、成績を評価する。 中間試験の点数も加味する場合がある。
その他	郡司掛　香織（大学病院において歯科医師として勤務）

使用教材	書　籍　名	著　者　名	出版社名
教科書	歯科衛生学シリーズ 歯科矯正学	全国歯科衛生士教育協議会　監修	医歯薬出版株式会社
参考図書	歯科矯正学　第6版	飯田順一郎ら	医歯薬出版株式会社

回数	授　業　計　画
1	オリエンテーション、矯正歯科治療の概要
2	成長発育
3	正常咬合と不正咬合①
4	正常咬合と不正咬合②
5	正常咬合と不正咬合③
6	矯正歯科診断
7	矯正歯科治療と力
8	中間試験（出題範囲：第１回～第７回分）、試験解説
9	矯正装置①
10	矯正装置②
11	矯正装置③
12	矯正歯科治療の実際
13	矯正歯科診断に関わる業務、矯正用器具・材料の準備と取扱い
14	矯正装置装着時の補助と指導
15	矯正歯科患者と口腔保健管理

九州医療スポーツ専門学校
令和 5年度　歯科衛生学科

科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野
			○

授業科目名	歯科口腔放射線論				担当者名	小田　昌史					
授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次		2年次		3年次	
単位数	1				授業時間数	前期	後期	前期	後期	前期	後期
							20				

授業概要	歯科衛生士としての業務範囲で行い得る放射線業務について理解するとともに、それらの基本となる事項を把握することを目的とする。具体的には、放射線に関する知識、防護に関する知識、エックス線撮影補助の知識を深め、安全かつ効率的に歯科診療補助を行えることを目指す。
成績評価	期末試験
その他	小田　昌史（大学病院において歯科医師として勤務）

使用教材	書　籍　名	著　者　名	出版社名
教科書	歯科衛生士講座　歯科放射線学	金田 隆　奥村泰彦　村上秀明	永末書店
参考図書			

回数	授　業　計　画
1	歯科診療における放射線
2	放射線の基礎知識
3	放射線の人体への影響
4	放射線防護
5	エックス線画像の形成
6	エックス線画像検査
7	画像診断
8	放射線治療
9	歯科診療補助１
10	歯科診療補助２

九州医療スポーツ専門学校
令和 5年度　歯科衛生学科

科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野
			○

授業科目名	歯科予防処置論Ⅰ					担当者名		永富　すみれ			
授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次		2年次		3年次	
単位数	1				授業時間数	前期	後期	前期	後期	前期	後期
						30					

授業概要	歯科予防処置の基礎的知識を十分に理解させ、人々の歯・口腔の健康を維持・増進させるための知識、および態度を習得する。
成績評価	期末テスト、授業態度・レポート・出席状況を評価の対象とする。
その他	永富すみれ（歯科診療所において歯科衛生士として勤務）

使用教材	書　籍　名	著　者　名	出版社名
教科書	歯科衛生学シリーズ 歯科予防処置論・歯科保健指導論	全国歯科衛生士教育協議会　監修	医歯薬出版株式会社
参考図書			

回数	授　業　計　画
1	歯科予防処置論の概要（定義、考え方、位置づけ、予防の概念）
2	口腔の基礎知識（正常な口腔、歯周組織）
3	口腔の基礎知識（歯冠と歯根の形態、口腔の機能）
4	口腔内の付着物、沈着物とプラークの基礎知識
5	歯周病の基礎知識
6	歯科衛生アセスメントのための情報収集と情報処理
7	歯科衛生アセスメントのための情報収集と情報処理
8	歯周検査（エキスプローラー、歯周プローブの基礎知識）
9	分析のためのデータ（歯周疾患指数）
10	スケーリングの基礎知識（スケーリングとは、スケーリングに用いる器具器材、ミラーテクニック）
11	シックルスケーラーの基礎知識（把持法、操作方法、ポジショニング）
12	キュレットスケーラーの基礎知識(スケーラーの見分け)
13	パワースケーラーの基礎知識
14	歯面研磨・歯面清掃(PMTC・PTC) の基礎知識
15	歯面清掃器の基礎知識

九州医療スポーツ専門学校
令和 5年度　歯科衛生学科

科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野
			○

授業科目名	歯科予防処置演習Ⅰ					担当者名		永富　すみれ			
授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次		2年次		3年次	
単位数		2			授業時間数	前期	後期	前期	後期	前期	後期
						20	60				

授業概要	歯周病を予防するための、歯科予防処置法の基礎的な手技、および態度を習得する。
成績評価	実技試験、レポート、授業態度、出席状況を評価の対象とする。
その他	永富すみれ（歯科診療所において歯科衛生士として勤務）

使用教材	書　籍　名	著　者　名	出版社名
教科書	歯科衛生学シリーズ　歯科予防処置論・歯科保健指導論	全国歯科衛生士教育協議会　監修	医歯薬出版株式会社
参考図書			

回数	授　業　計　画
1	歯周検査ファントム演習（ファントムの使い方、ポジショニング、エキスプローリング）
2	歯科衛生アセスメントのための情報収集と情報処理（口腔内の情報収集）
3	歯周検査（エキスプローラー、歯周プローブの基礎知識、操作方法）
4	歯周検査ファントム演習（プロービング）
5	歯周検査ファントム演習（プロービング）
6	歯周検査ファントム演習（プロービング）
7	歯周検査ファントム演習（プロービング）
8	シックルスケーラーファントム演習
9	シックルスケーラーファントム演習
10	シックルスケーラーファントム演習

九州医療スポーツ専門学校
令和 5年度　歯科衛生学科

科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野
			○

授業科目名	歯科予防処置演習Ⅰ					担当者名		永富　すみれ			
授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次		2年次		3年次	
単位数		2			授業時間数	前期	後期	前期	後期	前期	後期
						20	60				

授業概要	歯周病を予防するための、歯科予防処置法の基礎的な手技、および態度を習得する。
成績評価	実技試験、レポート、授業態度、出席状況を評価の対象とする。
その他	永富すみれ（歯科診療所において歯科衛生士として勤務）

使用教材	書　籍　名	著　者　名	出版社名
教科書	歯科衛生学シリーズ 歯科予防処置論・歯科保健指導論	全国歯科衛生士教育協議会　監修	医歯薬出版株式会社
参考図書			

回数	授　業　計　画
1	キュレットスケーラーの基礎知識　キュレットスケーラーの見分けテスト
2	キュレットスケーラー　顎模型演習（前歯）
3	キュレットスケーラー　顎模型演習（右上臼歯）
4	キュレットスケーラー　顎模型演習（左上臼歯）
5	キュレットスケーラー　顎模型演習（右下臼歯）
6	キュレットスケーラー　顎模型演習（左下臼歯）
7	キュレットスケーラー　顎模型演習（粘膜有）
8	器具の取り扱い説明（ハンドピース）・超音波スケーラー取り扱い　/　キュレットスケーラー
9	口腔内診査時の注意事項
10	超音波（顎模型演習）A　/プロービング（顎模型演習）　B
11	超音波（顎模型演習）B　/プロービング（顎模型演習）　A
12	エアースケーラー（顎模型演習）A　/プロービング　B
13	エアースケーラー（顎模型演習）B　/プロービング　A
14	歯面清掃器（エアポリッシャー・サブソニックブラシシステム）の使用
15	歯面清掃器（顎模型演習前歯）A　/プロービング（顎模型演習）B
16	歯面清掃器（顎模型演習前歯）B　/プロービング（顎模型演習）A

九州医療スポーツ専門学校
令和 5年度　歯科衛生学科

科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野
			○

授業科目名	歯科予防処置演習Ⅰ				担当者名	永富　すみれ					
授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次		2年次		3年次	
単位数		2			授業時間数	前期	後期	前期	後期	前期	後期
						20	60				

回数	授　業　計　画
17	歯面研磨（顎模型演習前歯）A　/プロービング（顎模型演習）B
18	歯面研磨（顎模型演習前歯）B　/プロービング（顎模型演習）A
19	まとめ
20	実技練習
21	歯周検査（相互演習）　A　/シックル（顎模型演習）　B　①
22	歯周検査（相互演習）　A　/シックル（顎模型演習）　B　①
23	歯周検査（相互演習）　B　/シックル（顎模型演習）　A　①
24	歯周検査（相互演習）　B　/シックル（顎模型演習）　A　①
25	歯周検査（相互演習）　A　/シックル（顎模型演習）　B　②
26	歯周検査（相互演習）　A　/シックル（顎模型演習）　B　②
27	歯周検査（相互演習）　B　/シックル（顎模型演習）　A　②
28	歯周検査（相互演習）　B　/シックル（顎模型演習）　A　②
29	シャープニングの基礎知識
30	シャープニング演習（シックル・キュレット）

九州医療スポーツ専門学校
令和 5年度　歯科衛生学科

科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野
			○

授業科目名	う蝕予防処置論					担当者名		永富　すみれ			
授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次		2年次		3年次	
単位数	1				授業時間数	前期	後期	前期	後期	前期	後期
							30				

授業概要	う蝕を予防し、人々の歯・口腔の健康を維持・増進させるために専門的な知識、技術、および態度を習得する。
成績評価	期末テスト、レポート、授業態度、出席状況を評価の対象とする。
その他	永富すみれ（歯科診療所において歯科衛生士として勤務）

使用教材	書　籍　名	著　者　名	出版社名
教科書	歯科衛生学シリーズ 歯科予防処置論・歯科保健指導論	全国歯科衛生士教育協議会　監修	医歯薬出版株式会社
参考図書			

回数	授　業　計　画
1	う蝕の基礎知識と概論①
2	う蝕の基礎知識と概論②
3	う蝕活動試験の基礎知識
4	う蝕活動試験の実際①
5	う蝕活動試験の実際②
6	フッ化物の基礎知識
7	フッ化物中毒量計算
8	フッ化物応用（フッ化物配合歯磨剤）
9	フッ化物応用（フッ化ジアミン銀、トレー法）
10	フッ化物歯面塗布（顎模型演習）・フッ化物洗口
11	フッ化物歯面塗布（相互演習）
12	フッ化物歯面塗布（相互演習）
13	小窩裂溝填塞法の基礎知識
14	小窩裂溝填塞法（顎模型演習）
15	小窩裂溝填塞法（顎模型演習）

九州医療スポーツ専門学校
令和 5年度　歯科衛生学科

科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野
			○

授業科目名	歯科予防処置演習Ⅱ				担当者名		永富　すみれ、五十嵐　比奈子			
授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次		2年次		3年次	
単位数		3			授業時間数	前期	後期	前期	後期	前期	後期
								110			

授業概要	歯科予防処置の基礎から応用の過程、技術および態度を習得する。 また、臨床に即した施術の流れを習得する。
成績評価	提出物・授業態度・身だしなみも評価の対象とする。
その他	/永富すみれ（歯科診療所において歯科衛生士として勤務）/五十嵐比奈子（歯科診療所において歯科衛生士として勤務）

使用教材	書　籍　名	著　者　名	出版社名
教科書	最新歯科衛生士教本　歯科予防処置論・歯科保健指導論　第２版	全国歯科衛生士教育協議会　監修	医歯薬出版株式会社
参考図書	最新歯科衛生士教本　歯周病学　第２版	全国歯科衛生士教育協議会　監修	医歯薬出版株式会社

回数	授　業　計　画
1	シックルスケーラー 相互実習
2	シックルスケーラー 相互実習
3	シックルスケーラー 相互実習
4	シックルスケーラー 相互実習
5	1・2年合同相互実習
6	1・2年合同相互実習
7	キュレットスケーラー 相互実習
8	キュレットスケーラー 相互実習
9	キュレットスケーラー 相互実習
10	キュレットスケーラー 相互実習
11	キュレットスケーラー 相互実習
12	キュレットスケーラー 相互実習
13	キュレットスケーラー 相互実習
14	キュレットスケーラー 相互実習
15	エアスケーラー 相互実習
16	エアスケーラー 相互実習

九州医療スポーツ専門学校
令和 5年度　歯科衛生学科

科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野
			○

授業科目名	歯科予防処置演習Ⅱ	担当者名	永富　すみれ、五十嵐　比奈子

授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次		2年次		3年次	
						前期	後期	前期	後期	前期	後期
単位数		3			授業時間数			110			

回数	授　業　計　画
17	エアスケーラー 相互実習
18	エアスケーラー 相互実習
19	超音波スケーラー 相互実習
20	超音波スケーラー 相互実習
21	超音波スケーラー 相互実習
22	超音波スケーラー 相互実習
23	超音波スケーラー 相互実習
24	超音波スケーラー 相互実習
25	超音波スケーラー 相互実習
26	超音波スケーラー 相互実習
27	歯面清掃器 相互実習
28	歯面清掃器 相互実習
29	歯面清掃器 相互実習
30	歯面清掃器 相互実習
31	ＰＴＣ 相互実習
32	ＰＴＣ 相互実習
33	ＰＴＣ 相互実習
34	ＰＴＣ 相互実習
35	ＰＴＣ 相互実習
36	ＰＴＣ 相互実習
37	ＰＴＣ 相互実習
38	ＰＴＣ 相互実習
39	歯科衛生過程アセスメント 相互実習
40	1・2年合同相互実習

九州医療スポーツ専門学校
令和 5年度　歯科衛生学科

科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野
			○

授業科目名	歯科予防処置演習Ⅱ				担当者名		永富　すみれ、五十嵐　比奈子			
授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次		2年次		3年次	
単位数		3			授業時間数	前期	後期	前期	後期	前期	後期
								110			

回数	授　業　計　画
41	1・2年合同相互実習
42	歯科衛生過程アセスメント 相互実習
43	歯科衛生過程（分析・診断）
44	歯科衛生過程（分析・診断）
45	歯科衛生過程（計画立案）
46	歯科衛生過程（介入）相互実習
47	歯科衛生過程（介入）相互実習
48	小窩裂溝填塞 相互実習
49	小窩裂溝填塞 相互実習
50	小窩裂溝填塞 相互実習
51	小窩裂溝填塞 相互実習
52	歯科衛生過程（介入）相互実習
53	歯科衛生過程（介入）相互実習
54	歯科衛生過程（評価）相互実習
55	歯科衛生過程（評価）相互実習

九州医療スポーツ専門学校
令和 5年度　歯科衛生学科

科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野
			○

授業科目名	歯科予防処置論Ⅱ	担当者名	永富　すみれ

授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次		2年次		3年次	
単位数	1				授業時間数	前期	後期	前期	後期	前期	後期
											30

授業概要	国家試験対策として、歯科予防処置論に関する専門的な知識について対策する。
成績評価	期末テストで評価する。
その他	永富すみれ（歯科診療所において歯科衛生士として勤務）

使用教材	書　籍　名	著　者　名	出版社名
教科書	最新歯科衛生士教本　歯科予防処置論・歯科保健指導論　第2版	全国歯科衛生士教育協議会　監修	医歯薬出版株式会社
参考図書	ポイントチェック歯科衛生士国家試験対策第5版⑤	歯科衛生士国家試験対策検討会	医歯薬出版株式会社

回数	授　業　計　画
1	国家試験対策：歯科予防処置論（総論）
2	国家試験対策：歯周病予防処置（基礎知識）
3	国家試験対策：歯周病予防処置（歯・歯周組織の検査）
4	国家試験対策：歯周病予防処置（計画）
5	国家試験対策：歯周病予防処置（スケーリング・ルートプレーニング）
6	国家試験対策：歯周病予防処置（歯面清掃・研磨）
7	国家試験対策：歯周病予防処置（メインテナンス）
8	国家試験対策：う蝕の予防（基礎知識）
9	国家試験対策：う蝕の予防（評価と計画）
10	国家試験対策：う蝕の予防（フッ化物によるう蝕予防）
11	国家試験対策：う蝕の予防（フッ化物歯面塗布）
12	国家試験対策：う蝕の予防（小窩裂溝填塞）
13	国家試験対策：う蝕の予防（フッ化物洗口）
14	国家試験対策：う蝕の予防（フッ化物配合歯磨剤）
15	国家試験対策：う蝕の予防（メインテナンス）

九州医療スポーツ専門学校
令和 5年度　歯科衛生学科

科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野
			○

授業科目名	歯科保健指導論Ⅰ					担当者名		五十嵐　比奈子			
授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次		2年次		3年次	
単位数	2				授業時間数	前期	後期	前期	後期	前期	後期
						40					

授業概要	健康と疾病の概念を理解し、人々の歯・口腔の健康を維持・増進するために、プロフェッショナルケア・セルフケア・コミュニティケアの基本となる知識、技術および態度を習得する。
成績評価	期末テストで評価する。レポート、授業態度も評価の対象とする。
その他	五十嵐比奈子（歯科診療所において歯科衛生士として勤務）

使用教材	書　籍　名	著　者　名	出版社名
教科書	歯科衛生学シリーズ 歯科予防処置論・歯科保健指導論	全国歯科衛生士教育協議会　監修	医歯薬出版株式会社
参考図書			

回数	授　業　計　画
1	歯科保健指導の概要
2	歯ブラシの基礎知識
3	ブラッシング方法の知識と技術（毛先を使用する方法）
4	口腔衛生指導　歯ブラシの選択とブラッシング
5	ブラッシング方法の知識と技術（わき腹を使用する方法）
6	口腔衛生指導　歯ブラシの選択とブラッシング
7	補助的清掃器具の知識と技術
8	補助的清掃器具の知識と技術
9	電動歯ブラシと音波ブラシの知識と技術
10	口腔衛生指導　補助的清掃器具の選択
11	口腔衛生指導　補助的清掃器具の選択
12	歯磨剤、洗口剤の基礎知識
13	歯磨剤、洗口剤の基礎知識
14	口腔衛生指導　症例別歯磨剤、洗口剤の選択
15	歯垢染色剤の知識と技術
16	分析のためのデータ、PCRの概要と計算方法

九州医療スポーツ専門学校
令和 5年度　歯科衛生学科

科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野
			○

授業科目名	歯科保健指導論Ⅰ	担当者名	五十嵐　比奈子

授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次		2年次		3年次	
単位数	2				授業時間数	前期	後期	前期	後期	前期	後期
						40					

回数	授　業　計　画
17	歯垢染色剤を使用してのチャート記入とPCR計算
18	分析のためのデータ　OHI、OHI-Sの概要と計算方法
19	分析のためのデータ　う蝕の指標、写真・画像
20	まとめ

九州医療スポーツ専門学校
令和 5年度　歯科衛生学科

科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野
			○

授業科目名	歯科保健指導論Ⅱ					担当者名		五十嵐　比奈子			
授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次		2年次		3年次	
単位数	2				授業時間数	前期	後期	前期	後期	前期	後期
							40				

授業概要	ライフステージ別の対象者の一般的特徴、口腔の特徴および望ましい保健行動を理解し、歯科保健指導に必要な知識、技術および態度を習得する。
成績評価	期末テスト、授業態度や提出物も評価の対象とする。
その他	五十嵐比奈子（歯科診療所において歯科衛生士として勤務）

使用教材	書　籍　名	著　者　名	出版社名
教科書	歯科衛生学シリーズ 歯科予防処置論・歯科保健指導論	全国歯科衛生士教育協議会　監修	医歯薬出版株式会社
参考図書			

回数	授　業　計　画
1	食生活指導の基礎と概要
2	食生活指導の演習
3	ライフステージにおける歯科衛生介入　妊産婦期
4	ライフステージにおける歯科衛生介入　妊産婦期の口腔清掃
5	ライフステージにおける歯科衛生介入　新生児期・乳児期の特徴
6	ライフステージにおける歯科衛生介入　乳児期の栄養
7	ライフステージにおける歯科衛生介入　乳児期の口腔清掃
8	ライフステージにおける歯科衛生介入　幼児期の特徴
9	ライフステージにおける歯科衛生介入　幼児期の栄養
10	ライフステージにおける歯科衛生介入　幼児期の口腔清掃
11	ライフステージにおける歯科衛生介入　学齢期
12	ライフステージにおける歯科衛生介入　学齢期の口腔清掃
13	ライフステージにおける歯科衛生介入　青年期
14	ライフステージにおける歯科衛生介入　成人期
15	喫煙者に対する指導
16	ライフステージにおける歯科衛生介入　老年期の特徴

九州医療スポーツ専門学校
令和 5年度　歯科衛生学科

科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野
			○

授業科目名	歯科保健指導論Ⅱ				担当者名	五十嵐　比奈子					
授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次		2年次		3年次	
単位数	2				授業時間数	前期	後期	前期	後期	前期	後期
							40				

回数	授　業　計　画
17	ライフステージにおける歯科衛生介入　老年期の食生活
18	配慮を要する者への歯科衛生介入　要介護高齢者
19	配慮を要する者への歯科衛生介入　障害児者
20	ライフステージにおける歯科衛生介入　まとめ・演習

九州医療スポーツ専門学校
令和 5年度　歯科衛生学科

科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野
			○

授業科目名	歯科保健指導演習Ⅰ				担当者名	五十嵐　比奈子					
授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次		2年次		3年次	
単位数		1			授業時間数	前期	後期	前期	後期	前期	後期
						16	14				

授業概要	歯科衛生介入としての歯科保健指導に必要な知識と技術を身につけ、ライフステージと機能障害に応じた口腔衛生管理、口腔機能管理、生活習慣に関する指導、支援について学ぶ。
成績評価	実技テスト、レポート、グループワーク、発表、出席状況を評価の対象とする。
その他	五十嵐比奈子（歯科診療所において歯科衛生士として勤務）

使用教材	書　籍　名	著　者　名	出版社名
教科書	歯科衛生学シリーズ　歯科予防処置論・歯科保健指導論	全国歯科衛生士教育協議会　監修	医歯薬出版株式会社
参考図書			

回数	授　業　計　画
1	口腔衛生指導実習　口腔内観察
2	口腔衛生指導実習　歯ブラシと補助的清掃用具の選択　実施
3	口腔衛生指導実習　ＰＣＲとＴＢＩ
4	口腔衛生指導実習　ＰＣＲとＴＢＩ
5	口腔衛生指導実習　ＰＣＲとＴＢＩ
6	口腔衛生指導実習　ＰＣＲとＴＢＩ
7	口腔衛生指導実習　ＰＣＲとＴＢＩ　（相互）
8	口腔衛生指導実習　ＰＣＲとＴＢＩ　（相互）

九州医療スポーツ専門学校
令和 5年度　歯科衛生学科

科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野
			○

授業科目名	歯科保健指導演習Ⅰ				担当者名	五十嵐　比奈子					
授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次		2年次		3年次	
単位数		1			授業時間数	前期	後期	前期	後期	前期	後期
						16	14				

授業概要	歯科衛生介入としての歯科保健指導に必要な知識と技術を身につけ、ライフステージと機能障害に応じた口腔衛生管理、口腔機能管理、生活習慣に関する指導、支援について学ぶ。
成績評価	実技テスト、レポート、グループワーク、発表、出席状況を評価の対象とする。
その他	五十嵐比奈子（歯科診療所において歯科衛生士として勤務）

使用教材	書　籍　名	著　者　名	出版社名
教科書	歯科衛生学シリーズ　歯科予防処置論・歯科保健指導論	全国歯科衛生士教育協議会　監修	医歯薬出版株式会社
参考図書			

回数	授　業　計　画
1	ライフステージにあわせた歯科衛生介入　学齢期の口腔衛生指導
2	ライフステージにあわせた歯科衛生介入　成人期（相互実習）
3	ライフステージにあわせた歯科衛生介入　成人期（相互実習）
4	ライフステージにあわせた歯科衛生介入　老年期の歯科保健指導
5	ライフステージにあわせた歯科衛生介入　老年期の歯科保健指導
6	ライフステージにあわせた歯科衛生介入　老年期の歯科保健指導
7	ライフステージにあわせた歯科衛生介入　老年期の歯科保健指導

九州医療スポーツ専門学校
令和 5年度　歯科衛生学科

科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野
			○

授業科目名	歯科保健指導演習Ⅱ				担当者名		五十嵐　比奈子、八丁　亜由美			
授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次		2年次		3年次	
単位数		2			授業時間数	前期	後期	前期	後期	前期	後期
								40	30		

授業概要	歯科衛生過程を通して歯科衛生士活動の思考と行動を論理的思考を習得し、ライフステージやそれぞれの対象者に応じた歯科衛生介入を実践する。
成績評価	グループ制作物、発表、実技テスト、筆記試験、授業態度などにより評価を行う。
その他	五十嵐比奈子（歯科診療所において歯科衛生士として勤務）/八丁亜由美（病院において歯科衛生士として勤務）

使用教材	書　籍　名	著　者　名	出版社名
教科書	最新　歯科衛生士教本　歯科予防処置論・歯科保健指導論　第2版	日本歯科衛生士会　監修	医歯薬出版株式会社
参考図書			

回数	授　業　計　画
1	地域歯科保健活動における健康保健教育　小学校における歯科保健指導
2	地域歯科保健活動における健康保健教育　小学校における歯科保健指導
3	地域歯科保健活動における健康保健教育　小学校における歯科保健指導
4	地域歯科保健活動における健康保健教育　小学校における歯科保健指導
5	地域歯科保健活動における健康保健教育　小学校における歯科保健指導
6	地域歯科保健活動における健康保健教育　小学校における歯科保健指導
7	地域歯科保健活動における健康保健教育　小学校における歯科保健指導
8	歯科衛生過程　基本的な考え方と6つの構成要素
9	歯科衛生過程　事例紹介
10	歯科衛生過程　事例紹介
11	歯科衛生過程　アセスメント
12	歯科衛生過程　アセスメント
13	歯科衛生過程　歯科衛生診断
14	歯科衛生過程　歯科衛生診断
15	歯科衛生過程　歯科衛生計画立案
16	歯科衛生過程　歯科衛生計画立案

九州医療スポーツ専門学校
令和 5年度　歯科衛生学科

科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野
			○

授業科目名	歯科保健指導演習Ⅱ	担当者名	五十嵐　比奈子、八丁　亜由美

授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次		2年次		3年次	
単位数		2			授業時間数	前期	後期	前期	後期	前期	後期
								40	30		

回数	授　業　計　画
17	歯科衛生過程　発表
18	歯科衛生過程　発表
19	配慮を要する者への歯科衛生介入　大規模災害被災者
20	災害時の歯科保健活動

九州医療スポーツ専門学校
令和 5年度　歯科衛生学科

科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野
			○

授業科目名	歯科保健指導演習Ⅱ				担当者名		五十嵐　比奈子、八丁　亜由美			
授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次		2年次		3年次	
単位数		2			授業時間数	前期	後期	前期	後期	前期	後期
								40	30		

授業概要	歯科衛生過程を通して歯科衛生士活動の思考と行動を論理的思考を習得し、ライフステージやそれぞれの対象者に応じた歯科衛生介入を実践する。
成績評価	グループ制作物、発表、実技テスト、筆記試験、授業態度などにより評価を行う。
その他	五十嵐比奈子（歯科診療所において歯科衛生士として勤務）/八丁亜由美（病院において歯科衛生士として勤務）

使用教材	書　籍　名	著　者　名	出版社名
教科書	歯科衛生士のための摂食嚥下リハビリテーション第２版	日本歯科衛生士会　監修	医歯薬出版株式会社
参考図書	口腔ケアガイド	日本口腔ケア学会　学術委員会	文光堂

回数	授　業　計　画
1	回復期・障害者病棟の紹介と多職種協働における歯科衛生士の役割
2	口腔ケアの目的と期待される効果の理解/口腔ケアの実際（有病者の口腔ケア①）
3	アセスメントの重要性と歯科衛生過程/口腔ケアの実際（有病者の口腔ケア②）
4	摂食嚥下障害と直接・間接訓練/口腔ケアの実際（困難事例）
5	オーラルフレイルと誤嚥性肺炎の理解/（実習①）口腔機能低下体験・とろみ体験
6	口腔ケア用品・保湿剤の理解/（実習②-Ⅰ）口腔乾燥・不快体験と相互実習
7	オーラルマネジメントと多職種連携/（実習②-Ⅱ）口腔乾燥・不快体験と相互実習 実習の振り返りと講義のまとめ
8	テストと解説
9	地域歯科保健活動における健康教育・地域歯科保健活動のフィールド
10	幼稚園・保育園における歯科健康教育計画
11	幼稚園・保育園における歯科健康教育計画
12	幼稚園・保育園における歯科健康教育媒体作成
13	幼稚園・保育園における歯科健康教育媒体作成
14	幼稚園・保育園における歯科健康教育媒体作成
15	幼稚園・保育園における歯科健康教育媒体作成

九州医療スポーツ専門学校
令和 5年度　歯科衛生学科

科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野
			○

授業科目名	歯科保健指導論Ⅲ					担当者名		五十嵐　比奈子			
授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次		2年次		3年次	
単位数	1				授業時間数	前期	後期	前期	後期	前期	後期
											30

授業概要	歯科保健指導および歯科衛生教育の知識、技法を総合的に習得し、臨床および国家試験に対応し得る能力を養う。
成績評価	期末テスト、授業態度や出席率も評価対象とする。
その他	五十嵐比奈子（歯科診療所において歯科衛生士として勤務）

使用教材	書　籍　名	著　者　名	出版社名
教科書	最新　歯科衛生士教本　歯科予防処置論・歯科保健指導論　第2版	全国歯科衛生士教育協議会　監修	医歯薬出版株式会社
参考図書	ポイントチェック歯科衛生士国家試験対策第5版⑤	歯科衛生士国家試験対策検討会	医歯薬出版株式会社

回数	授　業　計　画
1	国家試験対策：口腔衛生管理
2	国家試験対策：生活習慣指導
3	国家試験対策：食生活指導
4	国家試験対策：食生活指導
5	国家試験対策：口腔衛生管理
6	国家試験対策：健康教育
7	国家試験対策：健康教育
8	国家試験対策：配慮を要する物への指導
9	国家試験対策：口腔機能管理
10	国家試験対策：高齢者の理解と歯科治療
11	国家試験対策：総論・情報収集
12	国家試験対策：口腔機能管理
13	国家試験対策：生活習慣指導
14	国家試験対策：食生活指導
15	国家試験対策：健康教育

九州医療スポーツ専門学校
令和 5年度　歯科衛生学科

科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野
			○

授業科目名	歯科保健指導演習Ⅲ	担当者名	五十嵐　比奈子

授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次		2年次		3年次	
単位数		1			授業時間数	前期	後期	前期	後期	前期	後期
										30	

授業概要	学内において学習した歯科衛生士業務を、医療や保健の実践と結びつけながら理解を深め実践能力を養うために、地域歯科保健活動の場を通して歯科衛生士として必要な知識・技能・態度を身につけることを目指す。
成績評価	出席状況や授業態度、グループ点、実習評価で総合的に評価する。
その他	五十嵐　比奈子（歯科診療所において歯科衛生士として勤務）

使用教材	書　籍　名	著　者　名	出版社名
教科書	最新歯科予防処置・歯科保健指導論　第2	全国歯科衛生士教育協議会　監修	医歯薬出版株式会社
参考図書			

回数	授　業　計　画
1	幼稚園・保育園における歯科健康教育媒体作成
2	幼稚園・保育園における歯科健康教育媒体作成
3	幼稚園・保育園における歯科健康教育媒体作成
4	幼稚園・保育園における歯科健康教育媒体作成
5	幼稚園・保育園における歯科健康教育媒体作成
6	幼稚園・保育園における歯科健康教育媒体作成
7	幼稚園・保育園における歯科健康教育媒体作成
8	幼稚園・保育園における歯科健康教育媒体作成
9	幼稚園・保育園における歯科健康教育媒体作成
10	幼稚園・保育園における歯科健康教育媒体作成
11	幼稚園・保育園における歯科健康教育媒体作成
12	幼稚園・保育園における歯科健康教育　評価
13	幼稚園・保育園における歯科健康教育　評価
14	幼稚園・保育園における歯科健康教育活動フィードバック
15	幼稚園・保育園における歯科健康教育活動フィードバック

九州医療スポーツ専門学校
令和 5年度　歯科衛生学科

科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野
			○

授業科目名	栄養指導法	担当者名	遠藤　景子、朴　祇佑

授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次		2年次		3年次	
単位数	2				授業時間数	前期	後期	前期	後期	前期	後期
								30			

授業概要	本科目では、基礎栄養学をはじめライフステージ別の特性および食事摂取基準を理解し、歯科衛生士に必要な知識である適切な栄養指導法を身に付ける事を目標とする。また、臨床での歯科栄養の在り方はもちろん持続的な実践方法についても解説する。
成績評価	期末試験　授業態度
その他	遠藤　景子（実務経験なし）/ 朴　祇佑（実務経験なし）

使用教材	書　籍　名	著　者　名	出版社名
教科書	最新歯科衛生士教本　栄養と代謝	全国歯科衛生士教育協議会　監修	医歯薬出版株式会社
参考図書	カラーグラフ食品成分表		実教出版

回数	授　業　計　画
1	栄養の基礎知識Ⅰ
2	栄養の基礎知識Ⅱ
3	基礎代謝
4	国民の健康と栄養
5	栄養素の働きⅠ
6	栄養素の働きⅡ
7	望ましい食生活
8	ライフステージ別の栄養と調理
9	食事摂取基準Ⅰ
10	食事摂取基準Ⅱ
11	食事摂取基準Ⅲ
12	食べ物と健康
13	食べ物の物性
14	まとめ
15	国家試験対策

九州医療スポーツ専門学校
令和 5年度　歯科衛生学科

科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野
			○

授業科目名	歯科診療補助論Ⅰ					担当者名		下野　あゆみ			
授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次		2年次		3年次	
単位数	1				授業時間数	前期	後期	前期	後期	前期	後期
						30					

授業概要	医療現場において清潔・安全に対応できるよう感染予防対策について知識、技術および態度を習得する。
成績評価	期末テストならびに小テスト、実技テスト、出席状況、授業態度を加えて評価する。
その他	下野あゆみ（歯科診療所において歯科衛生士として勤務）

使用教材	書　籍　名	著　者　名	出版社名
教科書	歯科衛生学シリーズ　歯科診療補助論	全国歯科衛生士教育協議会　監修	医歯薬出版株式会社
参考図書	歯科医療における院内感染予防対策　マニュアル＆研修テキスト	ICHG研究会　編	医歯薬出版株式会社

回数	授　業　計　画
1	歯科診療補助の概念
2	感染予防の概念　スタンダードプリコーション
3	歯科医療における感染予防対策①
4	歯科医療における感染予防対策②
5	感染予防　医療廃棄物の取り扱い
6	感染予防　滅菌・消毒の使用方法
7	感染予防　滅菌・消毒の使用方法（演習）
8	感染予防　滅菌・消毒の使用方法（演習）
9	感染予防　手指消毒の手順
10	個人防護具
11	個人防護具の装着（演習）
12	個人防護具の装着（演習）
13	歯科治療で注意すべき感染症
14	救急処置
15	ヒヤリハット・アクシデント（針刺し事故）の現状

九州医療スポーツ専門学校
令和 5年度　歯科衛生学科

科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野
			○

授業科目名	歯科診療補助演習Ⅰ					担当者名		下野　あゆみ			
授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次		2年次		3年次	
単位数		3			授業時間数	前期	後期	前期	後期	前期	後期
						40	70				

授業概要	歯科診療の補助に対応するにあたり、歯科治療で用いられる主要歯科材料の種類、基本的性質および標準的な使用法を修得する。
成績評価	期末テストならびに実技テスト、授業態度も評価の対象とする。
その他	下野あゆみ（歯科診療所において歯科衛生士として勤務）

使用教材	書　籍　名	著　者　名	出版社名
教科書	歯科衛生学シリーズ　歯科診療補助論	全国歯科衛生士教育協議会　監修	医歯薬出版株式会社
参考図書	イラストと写真でわかる　歯科材料の基礎　第4版	竹澤保政　監著	永末書店

回数	授　業　計　画
1	歯科衛生材料の基礎知識と取扱い
2	歯科衛生材料作製
3	歯科衛生材料作製
4	歯科診療で扱う歯科材料　アルジネート印象材、印象採得の基礎知識
5	印象練和・採得
6	印象練和・採得
7	印象練和・採得
8	印象練和・採得
9	印象練和・採得
10	印象練和・採得
11	歯科診療で扱う歯科材料　普通石膏の基礎知識
12	印象練和・採得・模型作製
13	印象練和・採得・模型作製
14	印象練和・採得・模型作製
15	印象練和・採得・模型作製
16	印象練和・採得・模型作製

九州医療スポーツ専門学校
令和 5年度　歯科衛生学科

科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野
			○

授業科目名	歯科診療補助演習Ⅰ	担当者名	下野　あゆみ

授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次		2年次		3年次	
単位数		3			授業時間数	前期	後期	前期	後期	前期	後期
						40	70				

回数	授　業　計　画
17	印象練和・採得・模型作製
18	印象練和・採得・模型作製
19	印象練和・採得・模型作製
20	印象練和・採得・模型作製　評価

九州医療スポーツ専門学校
令和 5年度　歯科衛生学科

科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野
			○

授業科目名	歯科診療補助演習Ⅰ				担当者名	下野　あゆみ					
授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次		2年次		3年次	
単位数		3			授業時間数	前期	後期	前期	後期	前期	後期
						40	70				

授業概要	歯科診療の補助に対応するにあたり、歯科治療で用いられる主要歯科材料の種類、基本的性質および標準的な使用法を修得する。
成績評価	期末テストならびに実技テスト、授業態度も評価の対象とする。
その他	下野あゆみ（歯科診療所において歯科衛生士として勤務）

使用教材	書　籍　名	著　者　名	出版社名
教科書	歯科衛生学シリーズ　歯科診療補助論	全国歯科衛生士教育協議会　監修	医歯薬出版株式会社
参考図書			

回数	授　業　計　画
1	歯科診療で扱う歯科材料　寒天印象採得の基礎知識
2	寒天印象採得の補助　連合印象受け渡し
3	寒天印象採得の補助　連合印象受け渡し
4	寒天印象採得の補助　連合印象受け渡し　テスト
5	寒天印象採得の補助　連合印象受け渡し　テスト
6	歯科診療で扱う歯科材料　合成ゴム質印象の基礎知識
7	合成ゴム質印象の補助
8	合成ゴム質印象の補助
9	合着・接着剤の基礎知識と種類
10	合着・接着剤の練和法と余剰セメントの除去
11	仮封・仮着の補助、基礎知識と種類
12	仮封・仮着材の実習
13	セメント練和演習
14	その他の印象材の補助　ワックスの基礎知識　/　歯科診療で扱う歯科材料　綿栓作成
15	歯科診療で扱う歯科材料　綿栓作成　/セメント練和テスト
16	歯科診療で扱う歯科材料　綿栓作成　/セメント練和テスト

九州医療スポーツ専門学校
令和 5年度　歯科衛生学科

科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野
			○

授業科目名	歯科診療補助演習Ⅰ				担当者名	下野　あゆみ					
授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次		2年次		3年次	
単位数		3			授業時間数	前期	後期	前期	後期	前期	後期
						40	70				

回数	授　業　計　画
17	歯科診療で扱う歯科材料　綿栓作成
18	歯科診療で扱う歯科材料　綿栓作成
19	歯科診療における基礎知識、共同動作の概念、共同動作の実践
20	診療時のライティング、ポジション　基礎実習室の取り扱い
21	診療時のライティング、フォーハンドシステム、バキュームテクニックとスリーウェイシリンジ　A　ファントム
22	診療時のライティング、フォーハンドシステム、バキュームテクニックとスリーウェイシリンジ　B　ファントム
23	診療時のライティング、フォーハンドシステム、バキュームテクニックとスリーウェイシリンジ　A　相互
24	診療時のライティング、フォーハンドシステム、バキュームテクニックとスリーウェイシリンジ　B　相互
25	診療時のライティング、フォーハンドシステム、バキュームテクニックとスリーウェイシリンジ　A　相互
26	診療時のライティング、フォーハンドシステム、バキュームテクニックとスリーウェイシリンジ　B　相互
27	診療時のライティング、フォーハンドシステム、バキュームテクニックとスリーウェイシリンジ　A　相互
28	診療時のライティング、フォーハンドシステム、バキュームテクニックとスリーウェイシリンジ　B　相互
29	共同動作　まとめ
30	ラバーダム防湿の基礎知識
31	ラバーダム防湿の操作方法
32	ラバーダム防湿の操作方法
33	ラバーダム防湿の操作方法 実技テスト
34	ラバーダム防湿の操作方法　実技テスト
35	まとめ

九州医療スポーツ専門学校
令和 5年度　歯科衛生学科

科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野
			○

授業科目名	歯科診療補助論Ⅱ				担当者名	下野　あゆみ					
授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次		2年次		3年次	
単位数	1				授業時間数	前期	後期	前期	後期	前期	後期
									30		

授業概要	歯科衛生士の診療補助は診療所の中だけでなく、病院内、高齢者施設内など多岐にわたる。また、歯科診療所においても全身疾患を抱えている患者は少なくはない。そのため、歯科診療補助を行うにあたり、全身疾患を抱える患者に対して必要な知識および緊急時に対応できるよう知識を身につける。
成績評価	期末テスト、媒体提出ならびに授業態度や出席率も評価対象とする。
その他	下野あゆみ（歯科診療所において歯科衛生士として勤務）

使用教材	書　籍　名	著　者　名	出版社名
教科書	最新　歯科衛生士教本　歯科診療補助論　第2版	全国歯科衛生士教育協議会　監修	医歯薬出版株式会社
参考図書			

回数	授　業　計　画
1	主な全身疾患とその対応①（代謝・内分泌疾患）
2	エックス写真撮影補助（講義）
3	エックス写真撮影補助（演習）/媒体作成　①
4	エックス写真撮影補助（演習）/媒体作成　②
5	エックス写真撮影補助（演習）/媒体作成　③
6	エックス写真撮影補助（演習）/媒体作成　④
7	エックス写真撮影補助（読影）
8	主な全身疾患とその対応②（消化器・循環器疾患）
9	主な全身疾患とその対応③（血液・呼吸器疾患・腎疾患）
10	主な全身疾患とその対応④（免疫・感染症）
11	主な全身疾患とその対応⑤（神経系疾患）
12	主な全身疾患とその対応⑥（がん）
13	主な全身疾患とその対応⑦（産科・婦人科疾患）
14	周術期における歯科診療の補助
15	歯科訪問診療における対応

九州医療スポーツ専門学校
令和 5年度　歯科衛生学科

科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野
			○

授業科目名	歯科診療補助演習Ⅱ	担当者名	下野　あゆみ、永富　すみれ

授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次		2年次		3年次	
						前期	後期	前期	後期	前期	後期
単位数		2			授業時間数			80			

授業概要	歯科臨床の現場で行われている主な診療について、術式や使用器材についての理解を深める。また、診療の流れを理解しスムーズな歯科診療補助ができるようになる。
成績評価	期末テストならびに実技テスト、授業態度や出席率も評価対象とする。
その他	下野あゆみ（歯科診療所において歯科衛生士として勤務）/永富すみれ（歯科診療所において歯科衛生士として勤務）

使用教材	書　籍　名	著　者　名	出版社名
教科書	最新　歯科衛生士教本　歯科診療補助論　第2版	全国歯科衛生士教育協議会　監修	医歯薬出版株式会社
参考図書			

回数	授　業　計　画
1	口腔内写真　ファントム
2	口腔内写真　相互
3	歯内療法（術式ノート作成）
4	歯内療法（術式ノート作成）
5	歯内療法（器具）
6	歯内療法（器具）
7	歯内療法（演習）
8	口腔外科（術式ノート作成）
9	口腔外科（術式ノート作成）
10	口腔外科（器具）
11	歯内テスト
12	歯内テスト
13	口腔外科（演習）
14	口腔外科（演習）
15	まとめ（国家試験対策①）
16	まとめ（国家試験対策①）

九州医療スポーツ専門学校
令和 5年度　歯科衛生学科

科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野
			○

授業科目名	歯科診療補助演習Ⅱ				担当者名		下野　あゆみ、永富　すみれ			
授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次		2年次		3年次	
単位数		2			授業時間数	前期	後期	前期	後期	前期	後期
								80			

回数	授　業　計　画
17	暫間被覆冠作製
18	暫間被覆冠作製
19	矯正歯科（術式ノート）
20	矯正歯科（術式ノート）
21	矯正歯科（器具）
22	矯正歯科（器具）
23	矯正（テスト）/小児歯科（術式ノート）
24	矯正（テスト）/小児歯科（術式ノート）
25	小児歯科（乳歯冠作製）
26	小児歯科（乳歯冠作製）
27	ラバーダム防湿　相互実習
28	ラバーダム防湿　相互実習
29	まとめ（国家試験対策②）
30	まとめ（国家試験対策②）
31	保存修復（窩洞と隔壁、リテーナー）
32	歯周外科（術式ノート）
33	保存修復（レジン充填、研磨、仮着・合着の補助）
34	保存修復（レジン充填、研磨、仮着・合着の補助）
35	歯周外科（器具）
36	歯周外科（歯周パック取り扱い）
37	補綴歯科（歯肉圧排・連合印象）
38	補綴歯科（歯肉圧排・連合印象）
39	口腔外科テスト
40	口腔外科テスト

九州医療スポーツ専門学校
令和 5年度　歯科衛生学科

科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野
			○

授業科目名	歯科診療補助論Ⅲ				担当者名	下野　あゆみ					
授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次		2年次		3年次	
単位数	1				授業時間数	前期	後期	前期	後期	前期	後期
											30

授業概要	国家試験対策として、歯科診療補助に関する知識、技能及び対応について対策する。
成績評価	期末テスト、授業態度や出席率も評価対象とする。
その他	下野あゆみ（歯科診療所において歯科衛生士として勤務）

使用教材	書　籍　名	著　者　名	出版社名
教科書	最新　歯科衛生士教本　歯科診療補助論　第2版	全国歯科衛生士教育協議会　監修	医歯薬出版株式会社
参考図書	ポイントチェック歯科衛生士国家試験対策第5版⑤	歯科衛生士国家試験対策検討会	医歯薬出版株式会社

回数	授　業　計　画
1	総論
2	主要歯科材料の種類と取扱いと管理
3	主要歯科材料の種類と取扱いと管理
4	エックス線写真撮影時の診療補助
5	保存治療時の診療補助
6	保存治療時の診療補助
7	口腔外科治療時の診療補助
8	口腔外科治療時の診療補助
9	補綴治療時の診療補助
10	補綴治療時の診療補助
11	矯正歯科治療時の診療補助
12	小児歯科治療時の診療補助
13	高齢者治療時の診療補助
14	救命救急処置
15	対策問題

九州医療スポーツ専門学校
令和 5年度　歯科衛生学科

科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野
			○

授業科目名	歯科診療補助演習Ⅲ	担当者名	中島　紀子

授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次		2年次		3年次	
単位数		1			授業時間数	前期	後期	前期	後期	前期	後期
										20	

授業概要	３年次までに学んだ歯科診療の補助に関して総合的な演習を行い理解を深める。
成績評価	出席状況や授業態度、期末試験で総合的に評価する。
その他	中島　紀子（大学病院において歯科衛生士として勤務）

使用教材	書　籍　名	著　者　名	出版社名
教科書	最新　歯科衛生士教本　歯科診療補助論　第２版	全国歯科衛生士教育協議会　監修	医歯薬出版株式会社
参考図書			

回数	授　業　計　画
1	歯内療法時の診療補助／保存修復治療時の診療補助
2	歯内療法時の診療補助／保存修復治療時の診療補助
3	口腔外科時の診療補助／補綴治療時の診療補助
4	口腔外科時の診療補助／補綴治療時の診療補助
5	歯周外科治療の診療補助
6	歯周外科治療の診療補助
7	小児歯科治療時の診療補助／矯正治療時の診療補助
8	小児歯科治療時の診療補助／矯正治療時の診療補助
9	まとめ①
10	まとめ②

九州医療スポーツ専門学校
令和 5年度　歯科衛生学科

科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野
			○

授業科目名	歯科材料学					担当者名		池田　弘			
授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次		2年次		3年次	
単位数	1				授業時間数	前期	後期	前期	後期	前期	後期
							20				

授業概要	歯科臨床では、多くの種類の歯科材料を取り扱う。それぞれの歯科材料は、複合材料、金属、セラミックスなど様々な種類があり、その特徴を理解することは、適切な取り扱いに必要不可欠である。歯科材料学では、歯科衛生士に必要とされる歯科材料の基礎知識について学ぶ。
成績評価	期末試験、レポート（小試験含む）、出席と授業態度により評価する。
その他	池田　弘（実務経験なし）

使用教材	書　籍　名	著　者　名	出版社名
教科書	歯科衛生学シリーズ　　歯科材料	全国歯科衛生士教育協議会　監修	医歯薬出版株式会社
参考図書	イラストと写真でわかる歯科材料の基礎　第4版	監著　竹澤保政	永末書店

回数	授　業　計　画
1	歯科材料の基礎知識
2	歯科衛生に関わる材料
3	印象材
4	模型用材料
5	合着材・接着材
6	成形修復材
7	暫間修復材と仮着用セメント
8	ワックス、金属
9	セラミックス
10	その他の歯科材料、まとめ

九州医療スポーツ専門学校
令和 5年度　歯科衛生学科

科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野
			○

授業科目名	医療事務論					担当者名		五十嵐　比奈子			
授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次		2年次		3年次	
単位数	1				授業時間数	前期	後期	前期	後期	前期	後期
										20	

授業概要	社会保障制度における医療保険の仕組みを理解し、歯科医療行為に対する保険適用となる診療報酬の基礎を学ぶ。また歯科治療の流れを理解し、診療録に基づいた診療報酬の算定、患者負担金の計算を行う。 一般歯科診療所における日常臨床で頻繁に目にするカルテ症例をもとに、病名と歯科診療の関係やカルテへ記載する用語を理解する。
成績評価	期末試験及び確認テスト、授業態度により総合的に評価する。
その他	五十嵐　比奈子（歯科診療所において歯科衛生士として勤務）

使用教材	書　籍　名	著　者　名	出版社名
教科書			
参考図書	歯科衛生士のための歯科診療報酬入門	日本歯科衛生士会	医歯薬出版株式会社

回数	授　業　計　画
1	授業ガイダンス 医療保険制度の概要
2	歯科点数表総論 歯科点数表の特徴
3	歯科衛生士に関係する項目　歯周治療
4	日常臨床で必要な項目　充填
5	日常臨床で必要な項目　インレー
6	日常臨床で必要な項目　歯内治療
7	日常臨床で必要な項目　クラウン
8	日常臨床で必要な項目 ブリッジ
9	日常臨床で必要な項目 有床義歯 保険適用外材料
10	まとめ

九州医療スポーツ専門学校
令和 5年度　歯科衛生学科

科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野
			○

授業科目名	看護学					担当者名		山本　佐知子			
授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次		2年次		3年次	
単位数	1				授業時間数	前期	後期	前期	後期	前期	後期
								20			

授業概要	看護の概念、歯科衛生士に必要な看護技術や看護業務について学ぶ。
成績評価	期末試験により評価する。
その他	山本　佐知子（病院において看護師として勤務）

使用教材	書　籍　名	著　者　名	出版社名
教科書	歯科衛生士のための看護大意　第4版	全国私立歯科大学・歯学病院看護部長会編	医歯薬出版株式会社
参考図書			

回数	授　業　計　画
1	看護の歴史・看護の定義
2	対象の理解（１）
3	看護技術（１）　　コミュニケーション
4	看護技術（２）　　バイタルサイン
5	看護技術（３）　　演習（バイタルサイン測定・コミュニケーション）
6	看護技術（４）　　摂食・その他の看護技術
7	患者の安全と安楽（１）　　医療安全
8	患者の安全と安楽（２）　　患者の安楽
9	対象の理解（２）
10	地域医療活動における歯科衛生士の役割

九州医療スポーツ専門学校
令和 5年度　歯科衛生学科

科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野
			○

授業科目名	臨床検査法					担当者名		井上　真紀			
授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次		2年次		3年次	
単位数	1				授業時間数	前期	後期	前期	後期	前期	後期
								20			

授業概要	臨床検査によって、全身のさまざまな状態を客観的に把握することができる。全身疾患と歯科との関係は密接であり、それぞれの検査が意味することやデータの読み方について理解する必要がある。とりわけ社会の高齢化が進んでおり、歯科治療のリスクを評価することや、治療中の患者を正確に観察することも求められている。また、歯科ならではの検査もあり、口腔状態を記録するためには必須のものである。
成績評価	期末試験により評価する。
その他	井上　真紀（大学病院において歯科医師として勤務）

使用教材	書　籍　名	著　者　名	出版社名
教科書	歯科衛生学シリーズ　臨床検査	全国歯科衛生士教育協議会　監修	医歯薬出版
参考図書			

回数	授　業　計　画
1	ガイダンス、臨床検査の意義、種類
2	生体検査　１
3	生体検査　２、検体検査　１
4	検体検査　２
5	検体検査　３
6	口腔の検査　１
7	口腔の検査　２、摂食嚥下の検査
8	全身疾患と歯科　１
9	全身疾患と歯科　２
10	まとめ

九州医療スポーツ専門学校
令和 5年度　歯科衛生学科

科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野
			○

授業科目名	臨地・臨床実習Ⅰ					担当者名		下野　あゆみ			
授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次		2年次		3年次	
単位数				8	授業時間数	前期	後期	前期	後期	前期	後期
									360		

授業概要	１年次で習得した学習内容を応用し、現場（地域社会）での歯科衛生士の業務内容を把握する。 歯科診療所での、１日の流れや症例を学び、自ら向上する態度、コミュニケーションを身につける。
成績評価	実習日誌の記入内容、レポート、出席状況、実習態度で評価する。
その他	下野　あゆみ（歯科診療所において歯科衛生士として勤務）

使用教材	書　籍　名	著　者　名	出版社名
教科書			
参考図書			

授　業　計　画

①　実習項目および実習期間

(1) 歯科診療所

11月～翌年3月

(2) 高齢者施設

②　実習の目標

(1) 歯科診療所

・口腔保健を担う専門職として必要な知識を身につける。

・臨床の場にいる歯科衛生士の役割を理解する。

・対象者の問題を総合的に把握し理解する能力を身につける。

・コミュニケーション能力を身につける。

・自己を客観的に評価し、自ら向上する態度を身につける。

九州医療スポーツ専門学校
令和 5年度　歯科衛生学科

科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野
			○

授業科目名	臨地・臨床実習Ⅰ					担当者名	下野　あゆみ					
授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次		2年次		3年次	
単位数				8	授業時間数	前期	後期	前期	後期	前期	後期
									360		

授　業　計　画

（2）高齢者施設

・保健・医療・介護・福祉の場において多職種と協働する能力を身につける。

・対象者（高齢者）の問題を総合的に把握し理解する能力を身につける。

・高齢者施設での歯科衛生業務の役割を身につける。

③ 実習の内容

（1）歯科診療所

1. 医療人としての基本姿勢

2. 歯周病予防処置

3. う蝕予防処置

4. 歯科保健指導

5. 診療現場での対応

・チェアサイドでのアシスタント

・歯科材料の取扱い

・医療安全管理

6. 歯科診療補助

・保存診療時の診療補助

・補綴治療時の診療補助

・口腔外科治療時の診療補助

・歯科麻酔時の診療補助

・矯正治療時の診療補助

・小児歯科治療時の診療補助

・高齢者歯科治療時の診療補助

・エックス線写真撮影時の診療補助

九州医療スポーツ専門学校
令和 5年度　歯科衛生学科

科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野
			○

授業科目名	臨地・臨床実習Ⅰ	担当者名	下野　あゆみ

授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次		2年次		3年次	
						前期	後期	前期	後期	前期	後期
単位数				8	授業時間数				360		

授　業　計　画

(2) 高齢者施設

1. 高齢者や家族、職員とのコミュニケーション

2. 口腔ケア

3. 摂食・嚥下リハビリテーション

4. 歯科治療時の補助

九州医療スポーツ専門学校
令和 5年度　歯科衛生学科

科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野
			○

授業科目名	臨地・臨床実習Ⅱ	担当者名	下野　あゆみ

授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次		2年次		3年次	
						前期	後期	前期	後期	前期	後期
単位数				12	授業時間数					540	

授業概要	口腔衛生の専門職として、歯科衛生士に求められる、責任感、積極性、協調性、判断力を高め、実践で養う。 臨地実習では多職種連携の意義、歯科衛生士のかかわり方を学ぶ。
成績評価	実習日誌の記入内容、レポート、出席状況、実習態度で評価する。
その他	下野　あゆみ（歯科診療所において歯科衛生士として勤務）

使用教材	書　籍　名	著　者　名	出版社名
教科書			
参考図書			

授　業　計　画

① 実習項目および実習期間

(1) 九州歯科大学

6月の2週間

(2) 保育園実習

6月～7月

(3) 歯科診療所

4月～10月

(4) 総合病院

6月～10月

九州医療スポーツ専門学校
令和 5年度　歯科衛生学科

科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野
			○

授業科目名	臨地・臨床実習Ⅱ					担当者名	下野　あゆみ					
授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次		2年次		3年次	
単位数				12	授業時間数	前期	後期	前期	後期	前期	後期
										540	

授　業　計　画

② 実習の目標

(1) 九州歯科大学

・各専門科で行われる歯科診療内容や特色を理解する。

・一般開業医で行われる歯科診療との違いを理解する。

・大学病院の歯科衛生士の役割を理解する。

・見学を主とした臨床実習を実施することで理解を深める。

・全身疾患との関連や全身管理に考慮した歯科診療補助の重要性を理解する。

・臨床現場の現状・実情を知り、卒業後の進路の選択肢の視野を広げる。

(2) 保育園実習

・医療や保健の実践と結びつけながら理解を深め実践能力を養う。

・対象者（幼児）の問題を総合的に把握し理解する能力を身につける。

・多職種と協働する能力を身につける。

・これから萌出する永久歯、特に第一代大臼歯へのむし歯予防対策の指導を行う。

(3) 歯科診療所

・口腔保健を担う専門職として必要な知識を身につける。

・臨床の場にいる歯科衛生士の役割を理解する。

・対象者の問題を総合的に把握し理解する能力を身につける。

・コミュニケーション能力を身につける。

・自己を客観的に評価し、自ら向上する態度を身につける。

(4) 総合病院

・病院における歯科診療の場を通して歯科衛生士として必要な知識および態度を身につける。

九州医療スポーツ専門学校
令和 5年度　歯科衛生学科

科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野
			○

授業科目名	臨地・臨床実習Ⅱ	担当者名	下野　あゆみ

授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次		2年次		3年次	
						前期	後期	前期	後期	前期	後期
単位数				12	授業時間数					540	

授　業　計　画

③ 実習の内容

(1) 九州歯科大学

1. 医療人としての基本姿勢

2. 歯周病予防処置

3. 歯科診療補助

・保存治療時の診療補助

・補綴治療時の診療補助

・口腔外科治療時の診療補助

・歯科麻酔時の診療補助

・矯正治療時の診療補助

・小児歯科治療時の診療補助

・高齢者歯科治療時の診療補助

・障害者歯科治療時の診療補助

・エックス線写真撮影時の診療補助

(2) 保育園実習

歯や口に関心を持ち、基本的生活習慣として歯・口の清掃や、間食の規則性を守り、好き嫌いなく、よく噛んで食べることができるように指導する。

九州医療スポーツ専門学校
令和 5年度　歯科衛生学科

科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野
			○

授業科目名	臨地・臨床実習Ⅱ	担当者名	下野　あゆみ

授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次		2年次		3年次	
						前期	後期	前期	後期	前期	後期
単位数				12	授業時間数					540	

授　業　計　画

(3) 歯科診療所

1. 医療人としての基本姿勢

2. 歯周病予防処置

3. う蝕予防処置

4. 歯科保健指導

5. 診療現場での対応

・チェアサイドでのアシスタント

・歯科材料の取扱い

・医療安全管理

6. 歯科診療補助（各診療科目に応じる）

(4) 総合病院

1. 医療人としての基本姿勢

2. 見学実習を中心として地域における総合病院の役割を学ぶ

・智歯抜歯等の外来紹介患者の小手術および全身麻酔下における手術

・障害者の鎮静下での歯科治療

・入院患者の口腔ケア・ミールラウンド

・摂食嚥下障害へのサポート　・VF(嚥下造影検査)

九州医療スポーツ専門学校
令和 5年度　歯科衛生学科

科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野
			○

授業科目名	総合講義	担当者名	邵仁浩/松尾拡/藤元政考/郡司掛　香織/柿木保明/久保田浩三/安増絵理/渡辺幸嗣/引地尚子/三次翔

授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次		2年次		3年次	
単位数	2				授業時間数	前期	後期	前期	後期	前期	後期
											30

授業概要	国家試験にむけた基礎科目、臨床科目の総復習
成績評価	期末試験
その他	

使用教材	書　籍　名	著　者　名	出版社名
教科書			
参考図書	歯科衛生士国家試験ポイントチェック①～④	歯科衛生士国家試験対策検討会	医歯薬出版株式会社

回数	授　業　計　画
1	病理学・口腔病理学（担当：松尾　拡）
2	生理学・口腔生理学（担当：　邵　仁浩）
3	微生物学・口腔微生物学（担当：　邵　仁浩）
4	関係法規（担当：引地　尚子）
5	薬理学・歯科薬理学（担当：　邵　仁浩）
6	小児歯科学（担当：渡辺　幸嗣）
7	口腔外科学（担当：三次　翔）
8	歯周治療学（担当：久保田　浩三）
9	矯正歯科学（担当：郡司掛　香織）
10	歯内療法学（担当：藤元　政考）
11	歯科補綴学（担当：安増　絵理）
12	衛生学・公衆衛生学（担当：　邵　仁浩）
13	口腔衛生学（担当：　邵　仁浩）
14	高齢者・障害者歯科疾患論（担当：柿木　保明）
15	まとめ

九州医療スポーツ専門学校
令和 5年度　歯科衛生学科

科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野	選択必修
				○

授業科目名	接遇	担当者名	中原　三枝

授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次		2年次		3年次	
単位数	2				授業時間数	前期	後期	前期	後期	前期	後期
						30					

授業概要	社会人としての基本の心構えと動作。人の話を聞く、考える、まとめる、言葉にする。グループワークを通して違いを知るチャンス。社会からの評価がすべてである。感じの良い人になる逆算。できることを増やしていく。
成績評価	期末試験により評価する。
その他	中原　三枝（実務経験なし）

使用教材	書　籍　名	著　者　名	出版社名
教科書	新版　医療の接遇　基本マニュアル＆演習	医療タイムス社　教育研修事業部編	医療タイムス社
参考図書			

回数	授　業　計　画
1	オリエンテーション、他己紹介、インタビュー力、聴く力①
2	オリエンテーション、他己紹介、インタビュー力、聴く力②
3	パフォーマンス力、人前で話す、挨拶・表情・姿勢①
4	パフォーマンス力、人前で話す、挨拶・表情・姿勢②
5	歯科医院を知る、グループディスカッション
6	経験者の声、Q&A
7	魅力学　見られる意識・姿勢・歩き方・座り方
8	魅力学　お辞儀の仕方・手の表情・患者様のお迎えと見送り
9	正しい日本語、話す時の原則、伝え方、聴き方
10	グループ発表
11	テキスト　医療接遇　医療人として ホスピタリティ、身だしなみ
12	テキスト　言葉遣い　カウンセリングマインド
13	テキスト　会話のポイント、応対、社会人としての心構え
14	確認テスト
15	ことわざ、慣用句、敬語 他

九州医療スポーツ専門学校
令和 5年度　歯科衛生学科

科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野	選択必修
				○

授業科目名	話法	担当者名	徳永　順子

授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次		2年次		3年次	
						前期	後期	前期	後期	前期	後期
単位数	1				授業時間数				20		

授業概要	言葉遣いのみならず、心遣いの出来る歯科衛生士となるべく、EQ及びビジネスマナーetc.　を学ぶ。
成績評価	参加型の授業における反応、対応、および試験
その他	徳永　順子（実務経験なし）

使用教材	書　籍　名	著　者　名	出版社名
教科書			
参考図書	患者さんの心と信頼をつかむコトバづかいと話し方	山岸　弘子	クインテッセンス出版

回数	授　業　計　画
1	EQ
2	ビジネスマナーの体得①
3	ビジネスマナーの体得②
4	ビジネスマナーの体得③
5	小テスト　　敬語の基本①
6	敬語の基本②
7	患者様の心と信頼をつかむ言葉遣いと話し方
8	患者様の心と信頼をつかむ言葉遣いと話し方＆ロールプレイング
9	自己分析チェック
10	総括（テスト対策含）

九州医療スポーツ専門学校
令和 5年度　歯科衛生学科

科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野	選択必修
				○

授業科目名	ペン字	担当者名	荻生　千重

授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次		2年次		3年次	
						前期	後期	前期	後期	前期	後期
単位数		1			授業時間数				20		

授業概要	先ずは自分の名前をきれいに書けるようになるところから、“書く”ということを楽しんで興味を持つこと。
成績評価	期末試験だけでなく、姿勢・授業態度・ペンの持ち方・改善の跡などで評価する。
その他	荻生　千重（実務経験なし）

使用教材	書　籍　名	著　者　名	出版社名
教科書			
参考図書			

回数	授　業　計　画
1	姿勢、ペン・お箸の持ち方、自分の名前、ひらがな
2	前回の復習、カタカナ、アルファベット、数字
3	前回までの復習、漢字（文字の組み立て、間架結構法）、かな
4	前回までの復習、応用編（詩、長文）
5	原稿
6	かな（2～3文字の連綿）
7	筆ペン（かな、漢字楷、行）
8	賀状
9	和綴じ
10	和綴じ

九州医療スポーツ専門学校
令和 5年度　歯科衛生学科

科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野	選択必修
				○

授業科目名	介護技術概論	担当者名	柴田　仁子

授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次		2年次		3年次	
単位数	1				授業時間数	前期	後期	前期	後期	前期	後期
								20			

授業概要	・我が国の超高齢社会の現状と介護福祉の現場で起きている問題について知識を得る。 ・要介護状態の高齢者・障がい者の原因疾患や特徴を理解し、介護の3原則である「安全・安心」「自立支援」「個人の尊厳の尊重」の視点に立つ歯科診療受診時の対応の基本的なスキルを習得する。
成績評価	試験　レポート　授業の参加度
その他	柴田　仁子（障害者支援施設において支援員および療育指導員として勤務、訪問介護において訪問介護員として勤務、グループホームにおいて管理者およびケアマネージャーとして勤務）

使用教材	書　籍　名	著　者　名	出版社名
教科書	高齢者の歯科診療はじめの一歩　介護・介助の基本スキル	内藤徹・秋竹純・牧野路子・水谷慎介　著	医歯薬出版株式会社
参考図書	介護に役立つ口腔ケアの基本	財団法人サンスター歯科保健振興財団	中央法規出版

回数	授　業　計　画
1	オリエンテーション　グループワーク「高齢社会と歯科衛生」 ブレインストーミング
2	グループワーク「高齢社会と歯科衛生」発表
3	介護の基本　日本の介護の現状　今、起きていること
4	「75歳になった私の今」を考察する
5	介護保険制度について
6	要介護高齢者の暮らしの場と生活支援
7	障害者の障害の原因と特徴
8	障害者の生活を支える様々な支援
9	認知症の理解
10	認知症サポーター養成講座

九州医療スポーツ専門学校
令和 5年度　歯科衛生学科

科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野	選択必修
				○

授業科目名	介護技術演習	担当者名	柴田　仁子

授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次		2年次		3年次	
単位数		1			授業時間数	前期	後期	前期	後期	前期	後期
								20			

授業概要	要介護状態にある高齢者・障害者の健康と暮らしを支える介護・介助技術の実際を演習を通じて学び、自立を促す福祉機器・福祉用具等の知識を得る。
成績評価	試験　レポート　授業の参加度
その他	柴田　仁子（障害者支援施設において支援員および療育指導員として勤務、訪問介護において訪問介護員として勤務、グループホームにおいて管理者およびケアマネージャーとして勤務）

使用教材	書　籍　名	著　者　名	出版社名
教科書	高齢者の歯科診療はじめの一歩　介護・介助の基本スキル	内藤徹・秋竹純・牧野路子・水谷慎介　著	医歯薬出版株式会社
参考図書	生活支援技術Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ	介護福祉士養成講座編集委員会	中央法規出版

回数	授　業　計　画
1	介護におけるコミュニケーション
2	コミュニケーション方法　「グラフィックファシリテーション」を体験する
3	介護と介助　さまざまな介助
4	要介護高齢者のの移動の介助
5	在宅障害者の暮らしについて知る　　「生き方のデザイン研究所」
6	聴覚障害とは何か
7	北九州福祉用具プラザ　研修　「福祉機器・福祉用具」「介護ロボット」
8	北九州福祉用具プラザ　研修　「福祉機器・福祉用具」「介護ロボット」
9	要介護高齢者の食事介助　自立・一部介助・全介助
10	口腔ケアと食事介助

九州医療スポーツ専門学校
令和 5年度　歯科衛生学科

科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野	選択必修
				○

授業科目名	摂食嚥下・口腔機能訓練法	担当者名	藤井　航

授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次		2年次		3年次	
単位数	1				授業時間数	前期	後期	前期	後期	前期	後期
									20		

授業概要	要介護高齢者や障害者における摂食嚥下のメカニズムについて基本的知識を習得したうえで，摂食嚥下障害のさまざまな病態を学修する. 歯科衛生士として，摂食嚥下障害を有する患者へ摂食嚥下リハビリテーションを実践するための基礎として，アセスメント，スクリーニング，精密検査，訓練方法，口腔衛生管理，食事支援の知識を学修する.
成績評価	期末試験、その他（遅刻，欠席，授業態度，実習態度などで減点）
その他	藤井　航（大学病院において歯科医師として勤務）

使用教材	書　籍　名	著　者　名	出版社名
教科書	歯科衛生士のための摂食嚥下リハビリテーション第2版	日本歯科衛生士会　監修	医歯薬出版株式会社
参考図書			

回数	授　業　計　画
1	摂食嚥下リハビリテーション総論
2	オーラルフレイルと口腔機能低下症
3	摂食嚥下障害患者の評価，スクリーニング
4	嚥下造影検査（VF）
5	内視鏡下嚥下機能検査（VE）
6	摂食嚥下障害患者の口腔衛生管理
7	摂食嚥下リハビリテーションの実際
8	摂食嚥下障害と栄養管理，嚥下調整食について
9	間接訓練（実習）
10	直接訓練（実習）

九州医療スポーツ専門学校
令和 5年度　歯科衛生学科

科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野	選択必修
				○

授業科目名	隣接医療	担当者名	引地　尚子

授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次		2年次		3年次	
						前期	後期	前期	後期	前期	後期
単位数	1				授業時間数				20		

授業概要	歯科衛生士として患者様に接する際に知っていなければならない医学的な知識（病態、処置に関しての事項等）
成績評価	授業態度、取り組み、発表の得点 期末テストの点数により評価する
その他	引地　尚子（実務経験なし）

使用教材	書　籍　名	著　者　名	出版社名
教科書	歯科衛生士のための全身疾患ハンドブック	橋本　賢二・増本　一真	医歯薬出版株式会社
参考図書	最新歯科衛生士教本　歯科診療補助論　第2版	全国歯科衛生士教育協議会　監修	医歯薬出版株式会社

回数	授　業　計　画
1	代謝・内分泌疾患
2	消化器疾患
3	循環器疾患・血液疾患
4	呼吸器疾患
5	腎・泌尿器疾患
6	免疫疾患・膠原病
7	感染症
8	神経疾患・精神疾患
9	がん
10	妊娠、産科・婦人科疾患

九州医療スポーツ専門学校
令和 5年度　歯科衛生学科

科目区分	基礎分野	専門基礎分野	専門分野	選択必修
				○

授業科目名	特別教養	担当者名	中原　三枝

授業形態	講義	演習	実技	実習	履修年次等	1年次		2年次		3年次	
						前期	後期	前期	後期	前期	後期
単位数	1				授業時間数		20				

授業概要	社会人としての一般常識.表現方法を身につける。 目標を明確に持ち工夫ができる人になる。 感じのよい人になれるか。役に立てる人になれるか。 違いを受け入れることができるか。
成績評価	期末試験により評価する。
その他	中原　三枝（実務経験なし）

使用教材	書　籍　名	著　者　名	出版社名
教科書	医療の接遇　基本マニュアル＆演習	医療タイムス社　教育研修事業部編	医療タイムス社
参考図書	評価される女性のためのるーるブック	中原　三枝	

回数	授　業　計　画
1	話し方の基本、復習テスト
2	歯科衛生士として必要なこと、ディスカッション
3	一般常識、秘書検定ワーク
4	テキスト、ビジネスマナー
5	確認テスト、面接の質問、自分のことを言葉にする
6	実践、面接
7	患者が望むこと、相手の立場になる、グループワーク
8	患者導入、ヒヤリハット対策
9	確認テスト、プレゼンテーショントレーニング
10	最終プレゼンテーション、審査